

## 障害者プラン 当事者アンケート調査結果

### [当事者アンケート 目的]

「横浜市障害者プラン（第3期）」をつくるにあたって、障害のある方の暮らしや気持ちを知るため。

### [アンケート実施時期・発送数・回答数]

#### 1 実施期間

平成 26 年 1 月上旬から 1 月 31 日まで

#### 2 発送数

13,000 部（身体障害：9,000 部、知的障害：2,000 部、精神障害：2,000 部）

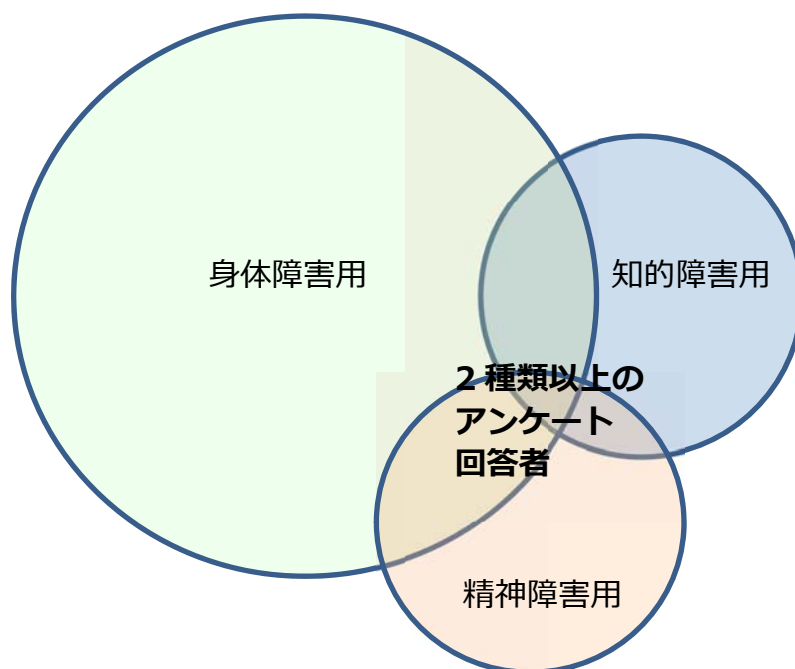
※ 平成 24 年度末時点の各種障害者手帳所持者の約 10%を無作為で抽出し、アンケートを発送

#### 3 回答数

5,800 部（44.6%）（身体障害：4,206 部、知的障害：881 部、精神障害：713 部）

<無作為抽出で発送したアンケート について>

図1 アンケート回答者のイメージ

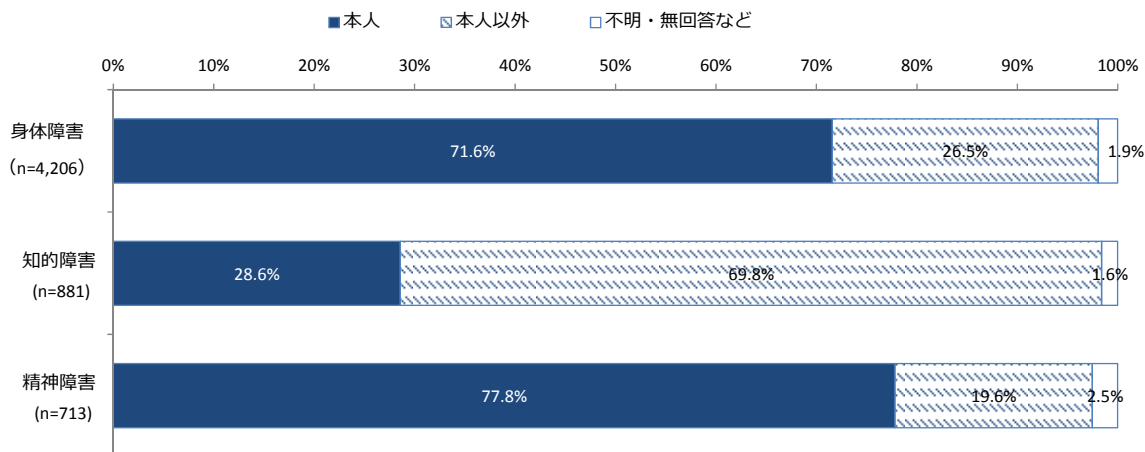


無作為抽出でアンケートを発送しているために、障害の重複がある方には2種類以上のアンケートが届いている可能性があります。そのため、一人の方が2種類以上のアンケートに回答をしている可能性もあります。しかし、無記名での回答であるために2種類以上のアンケートに回答している方の割合について把握する事は出来ません。

## [アンケート回答者の基本情報]

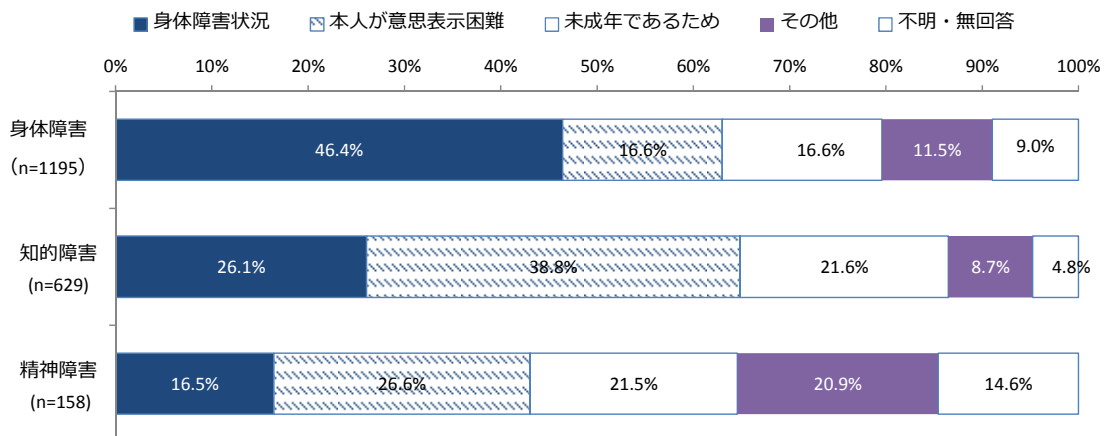
### 1 回答者は、本人か本人以外か

身体障害・精神障害と異なり、知的障害 の7割弱は本人以外の方です。



本人以外の方が回答をした理由として、意思表示が難しいため（本人の状況・未成年等の理由）と答えた方が知的障害では6割を占めています。

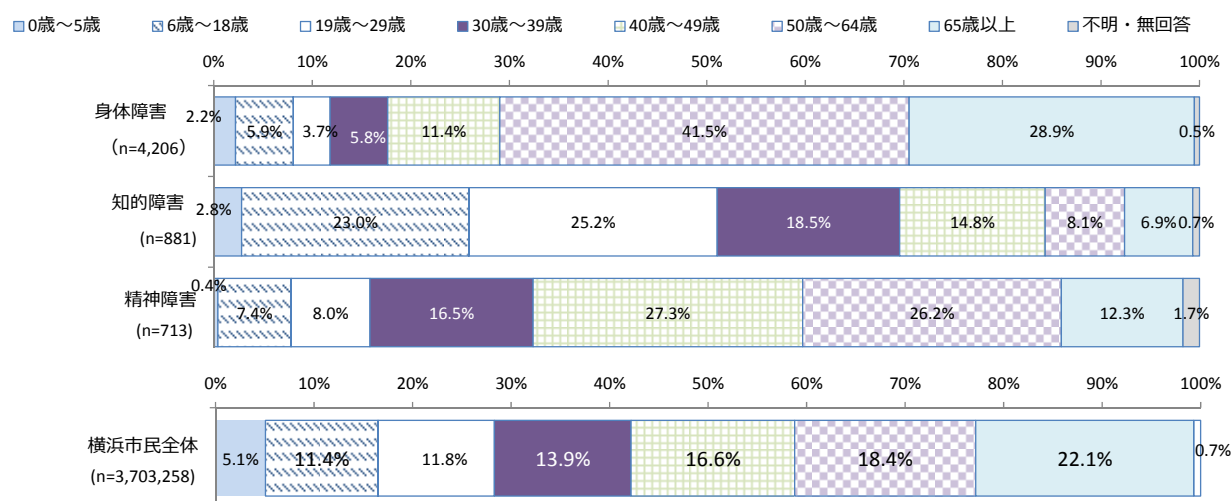
### ■本人以外の方が回答した理由（1つ選ぶ）



## 2 回答者（対象となる方）の現年齢・性別

### (1) 年齢

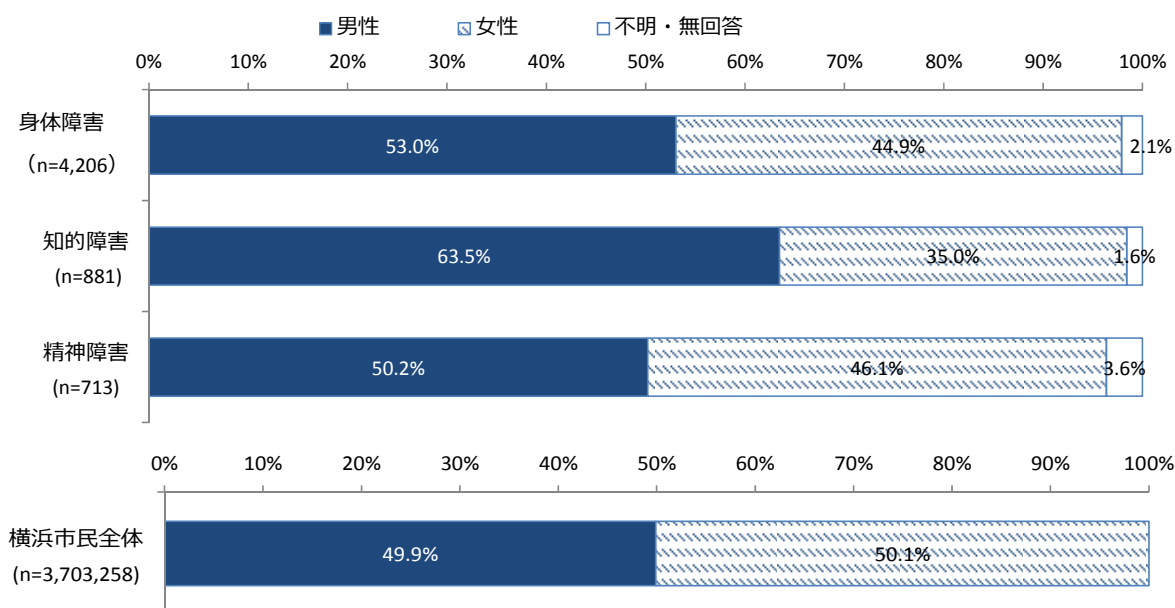
回答者の年齢構成と横浜市民全体を比較すると、障害種別によって回答者の年齢構成が大きく異なることが確認できます。身体障害の場合、7割強は50歳以上の方です。一方で、知的障害の場合、3割弱が18歳以下であり4割強が19歳～39歳までの方です。また、精神障害の場合、4割強が30歳～49歳までの方です。また、4割弱が、50歳～64歳までの方です。



※ 横浜市民全体：平成26年1月1日現在

### (2) 性別

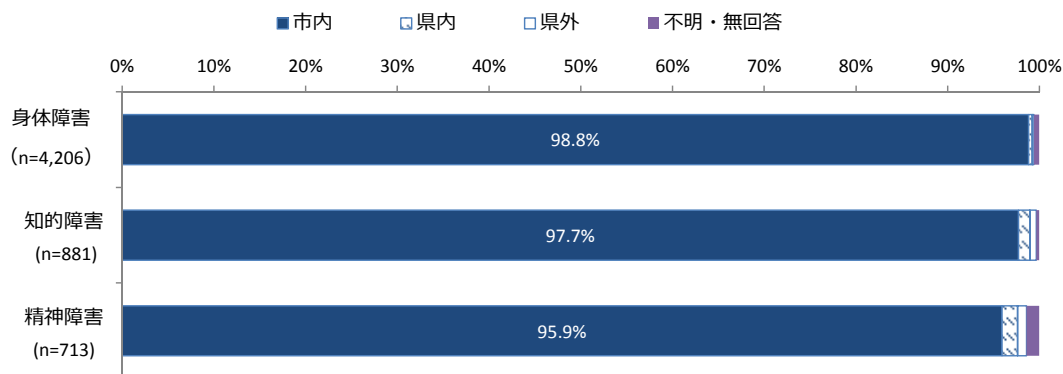
回答者の性別構成と横浜市民全体を比較すると、知的障害者用アンケート回答者の6割強が男性を占める他は、特色がないように思われます。



※ 横浜市民全体：平成26年1月1日現在

### 3 回答者（対象となる方）の居住地

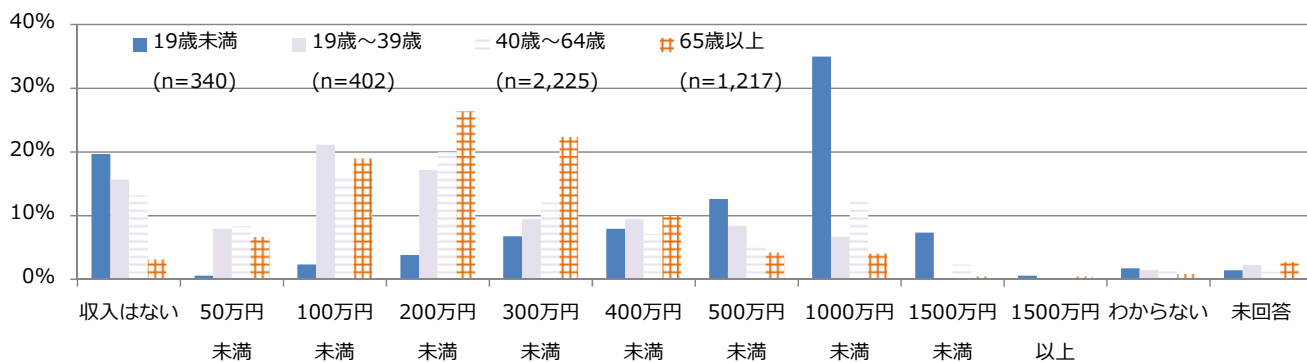
障害種別に係らず、アンケート回答者の9割強は市内在住の方です。



### 4 回答者（対象となる方）の年収

#### (1) 身体障害者

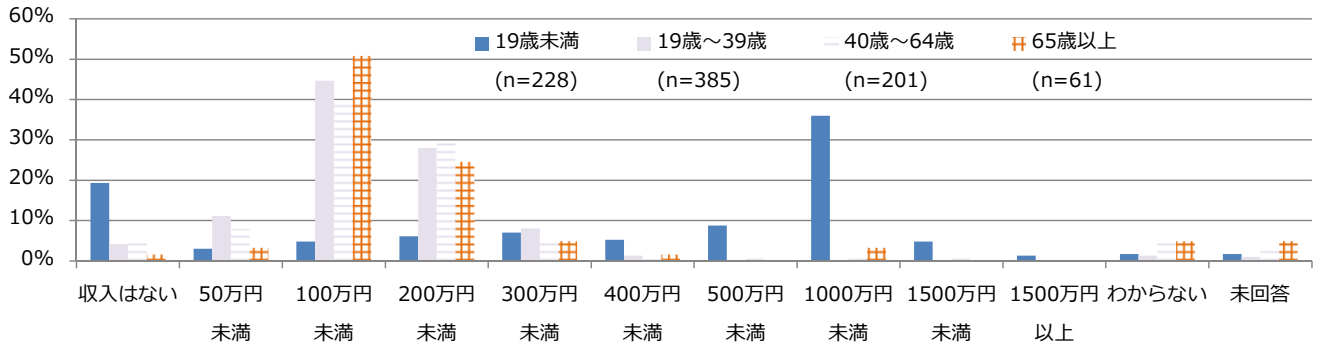
19歳未満では「無収入」もしくは「1000万円未満」と、大きく分かれておりますが、年齢が高くなるにつれて、「50万円以上 300万円未満」の方の占める割合が高くなります。



年収：年金・手当・生活保護費・親族からの援助も含めた金額です。  
回答者（対象となる方）が18歳未満の場合は、保護者の方の年収です。

## (2) 知的障害

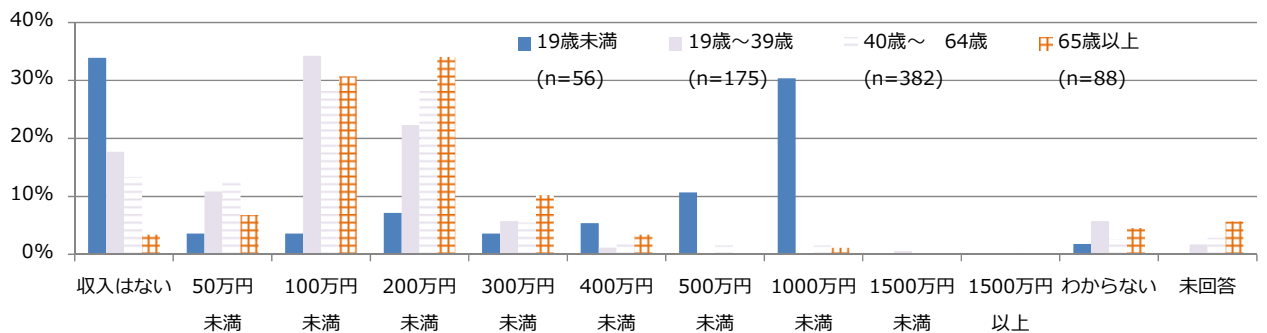
19歳未満では「無収入」もしくは「1000万円未満」と大きく割れますが、19歳以上ではどの年代も50%近くの方が「年収は100万円未満」と回答をしています。



年収：年金・手当・生活保護費・親族からの援助も含めた金額です  
回答者（対象となる方）が18歳未満の場合は、保護者の方の年収です。

## (3) 精神障害

19歳未満では「無収入」もしくは「1000万円未満」と大きく割れます。19歳以上では、どの年代も4割程度の方が、「年収は50万円以上200万円未満」と回答をしています。

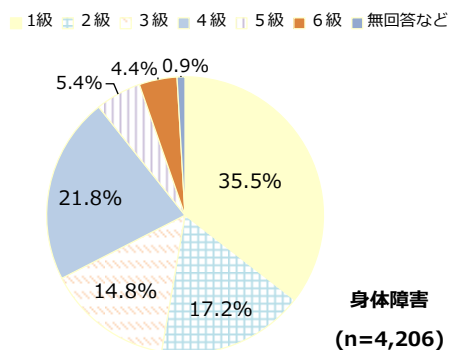


年収：年金・手当・生活保護費・親族からの援助も含めた金額です。  
回答者（対象となる方）が18歳未満の場合は、保護者の方の年収です。

## 5 回答者（対象となる方）の障害程度・他種手帳の所持

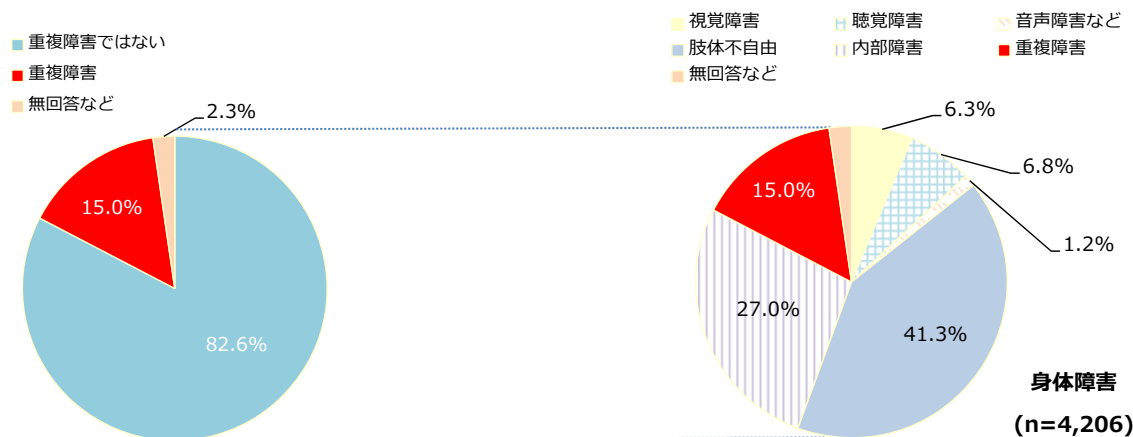
### (1) 身体障害

【回答者の障害程度の分布】



回答者の5割強を、身体障害1級・2級の方が占めます。一方で、身体障害5級、6級といった障害の程度が重くない方は、回答者の1割程度です。

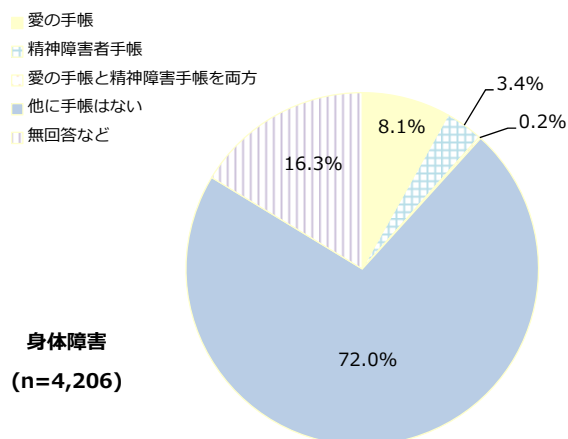
【回答者の障害の重複状況】



【回答者の障害状況・重複の状況】

肢体不自由の方が、回答者の4割強を占めます。また、内部障害の方が、回答者の3割弱を占めます。また、2割の方が重複障害の方です。

【他の手帳 所持状況】

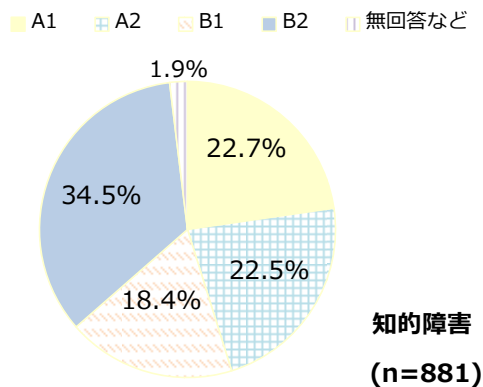


【他の手帳 所持状況】

回答者の7割以上は、他の障害者手帳を所持していません。

## (2) 知的障害

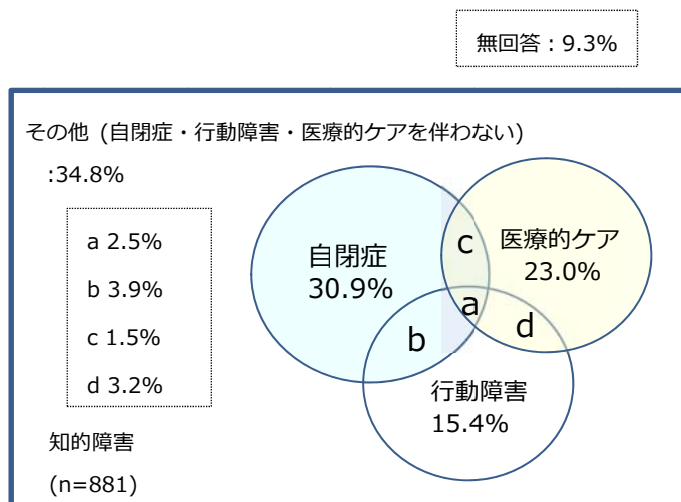
### 【回答者の障害程度の分布】



### 【回答者の障害程度の分布】

回答者の3割強が、愛の手帳B2の方です。身体障害者版アンケートと異なり、障害程度の軽い方、重い方それぞれが回答者に占める割合に大きな偏りはありません。

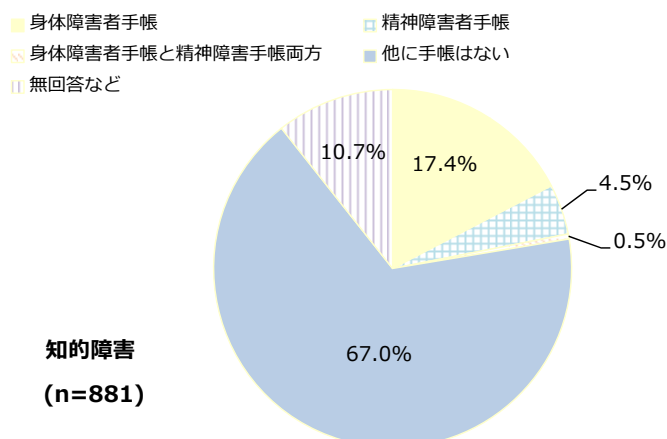
### 【障害の状況や特性】



自閉症の方が回答者の3割を占めます。また、行動障害の方が2割弱を占めます。

回答者の1割の方が、「自閉症・行動障害・医療的ケア」のうち、複数の状態が重複をしている方です。

### 【他の手帳の所持状況】

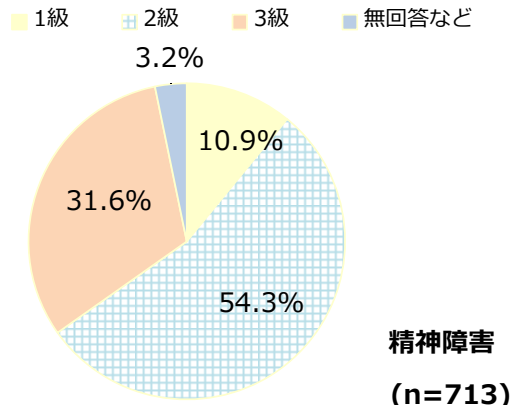


回答者の7割弱は、他の障害者手帳を持っておりません。

一方、2割弱の方は身体障害者手帳を持っています。

### (3) 精神障害

【回答者の障害程度の分布】



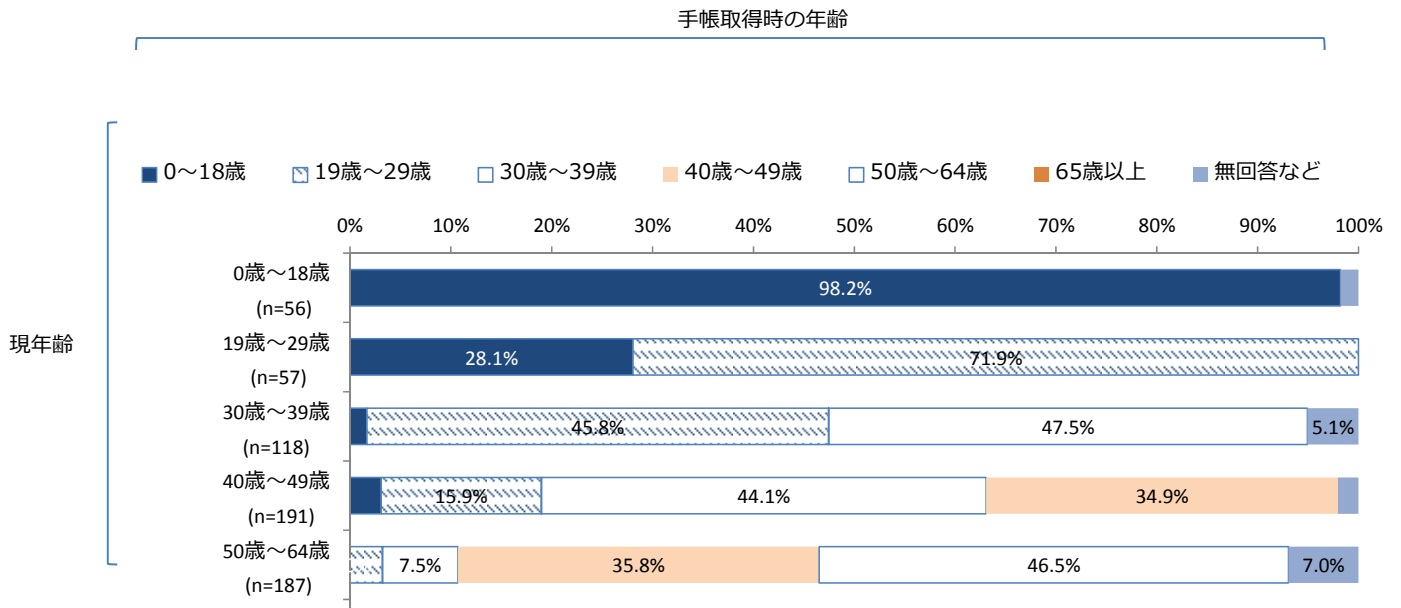
[回答者の障害程度の分布]

精神障害者手帳 2 級の方が、回答者の 5 割強を占めています。また、3 級の方が 3 割を占めています。

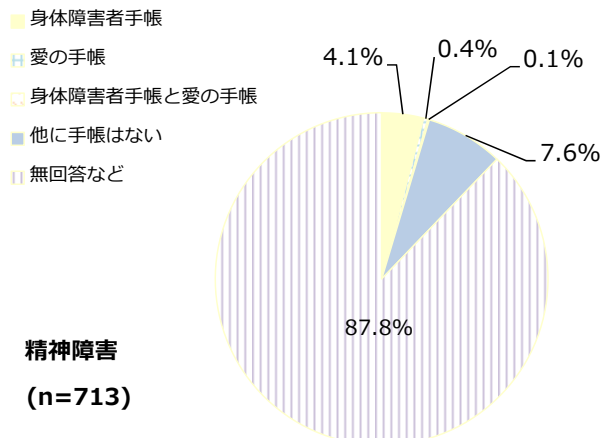
[手帳取得時の年齢]

現在 30 歳代の方の 5 割弱の方が 30 代で手帳を取得しています。また、現在 40 代の方の 3 割強が 40 代で手帳を取得しています。

【精神障害者手帳取得時の年齢】



【他の手帳の取得状況】



[他の手帳 取得状況]

9 割弱の方が、無記入で回答をしました。

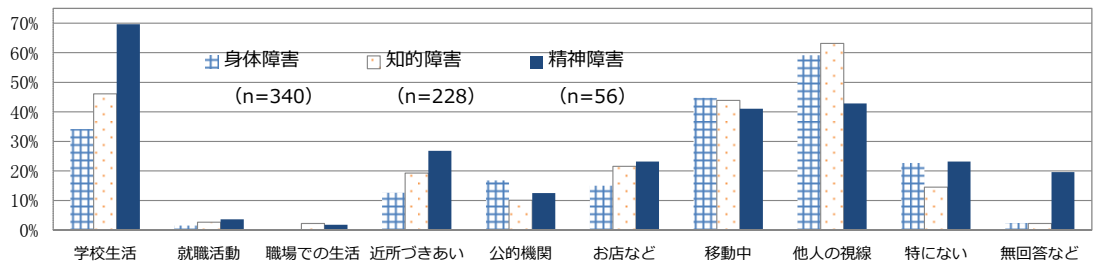


[アンケート回答結果：障害の理解や地域との係わりについて]

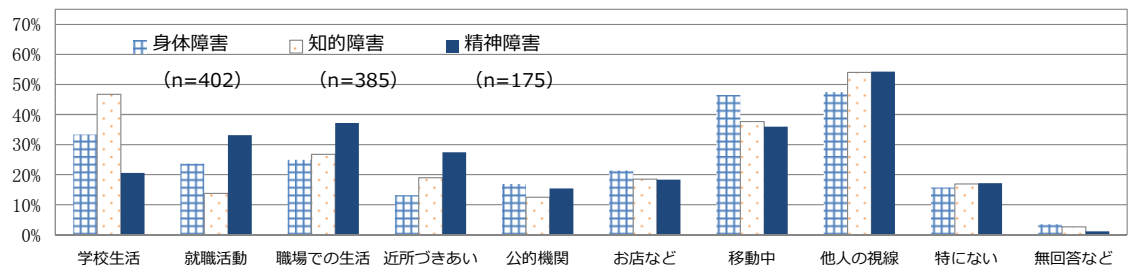
- 1 障害があることを理由に経験した嫌な思い・不適切な対応を教えてください。  
-当てはまるもの全てを選択-

各障害ともに、65 歳未満までを見てみると、「移動中」と「他人の視線」が回答割合の多くを占めています。また、19 歳未満で見てみると、「学校生活」と回答する割合が多くなっています。  
一方、65 歳以上を見てみると、「特にない」という回答が、どの障害においても一番多くの回答を占めています。

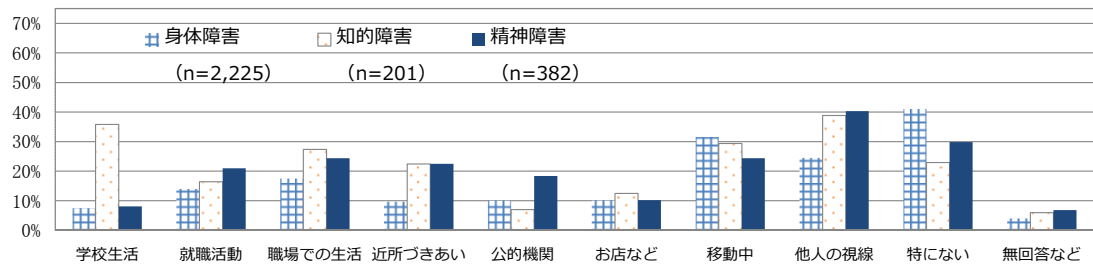
(1) 19 歳未満



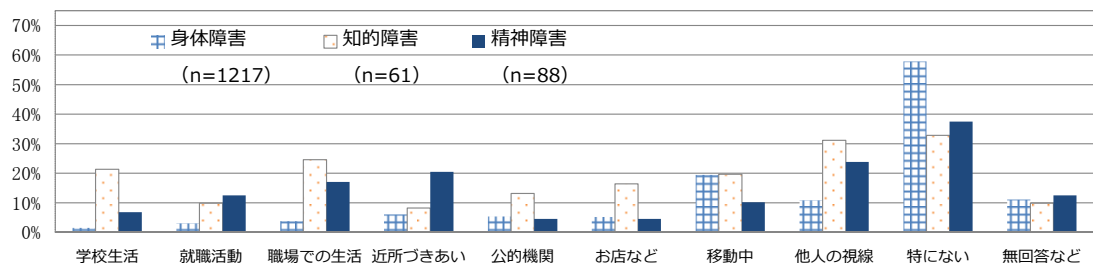
(2) 19 歳以上 40 歳未満



(3) 40 歳以上 65 歳未満



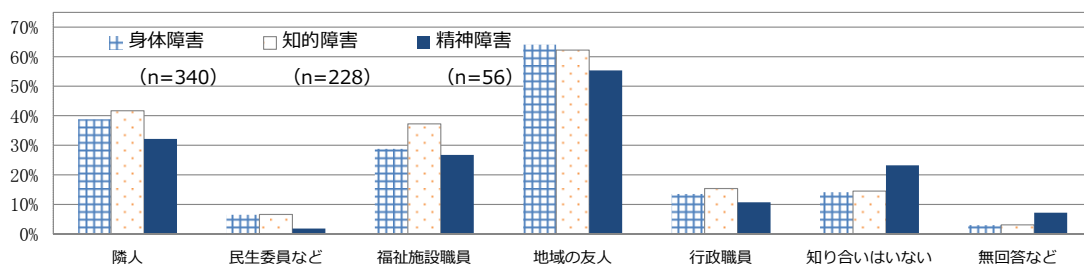
(4) 65 歳以上



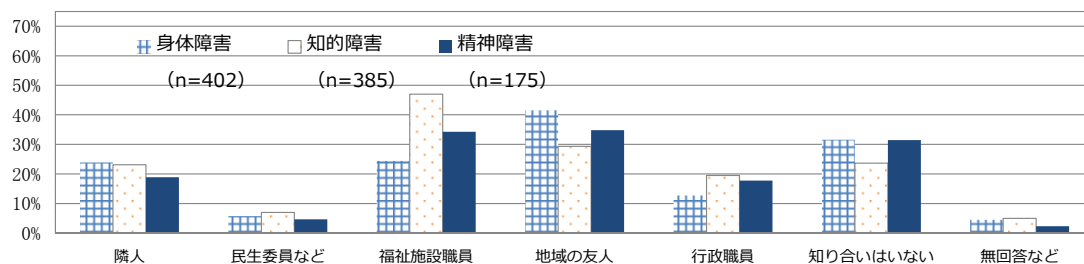
2 現在、地域の中で、どのような方と係わりがありますか  
 -当てはまるもの全てを選択-

19 歳未満では各障害ともに 5 割以上が「地域の友人」と回答しています。  
 19 歳以上では、「地域の友人」よりも「福祉施設職員」と回答した方の割合が知的障害・精神障害の方では増加しております。  
 一方、民生委員と回答する方は、どの障害・年代を見ても低くなっています。

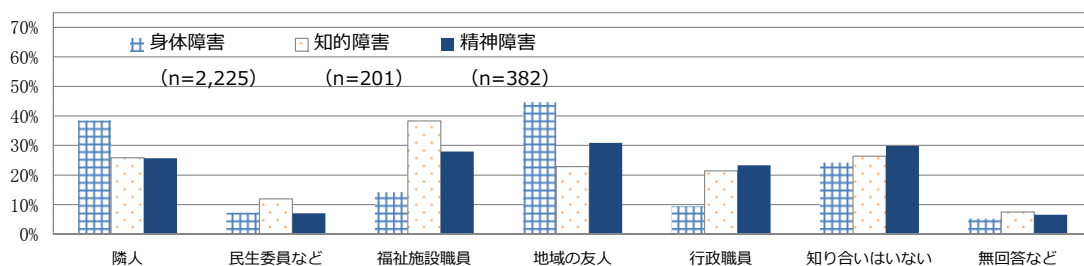
(1) 19 歳未満



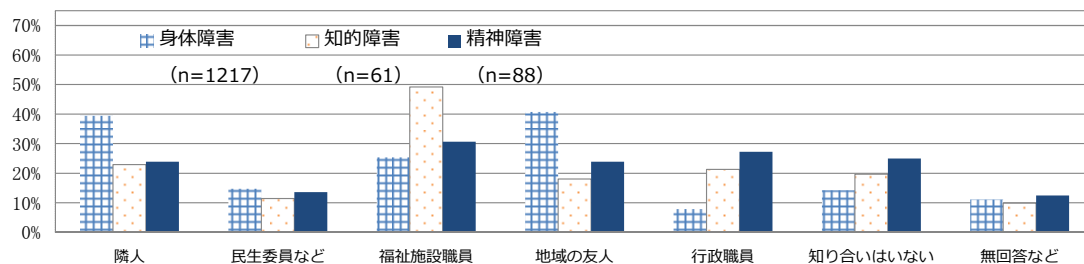
(2) 19 歳以上 40 歳未満



(3) 40 歳以上 65 歳未満



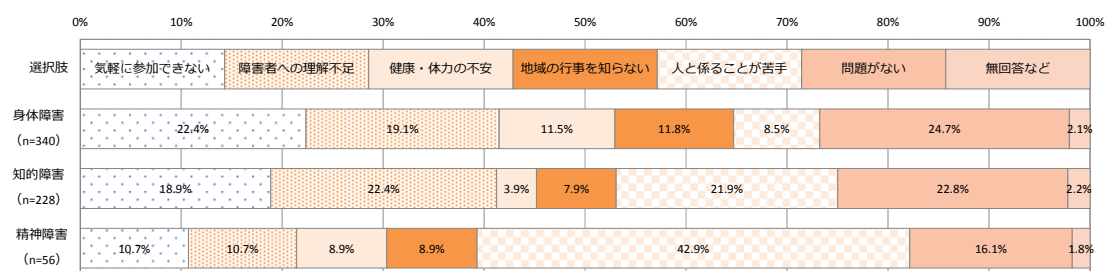
(4) 65 歳以上



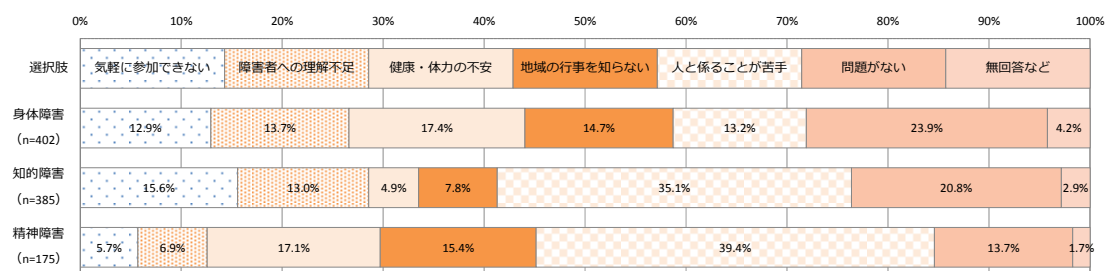
### 3 地域の行事に参加しようと思ったときに、問題となること -もっとも当てはまるものを選択-

19歳未満では、身体・知的障害の方ともに「気軽に参加できない」「障害者への理解不足」を回答した方の割合はそれぞれ2割前後を占めております。一方で、精神障害方では4割が「人と係ることが苦手」と回答をしております。年齢が高くなるにつれ、「気軽に参加できない」「障害者への理解不足」と回答する方の割合は、障害種別を問わず小さくなります。一方で、「健康・体力の不安」と回答する方の割合が高くなります。

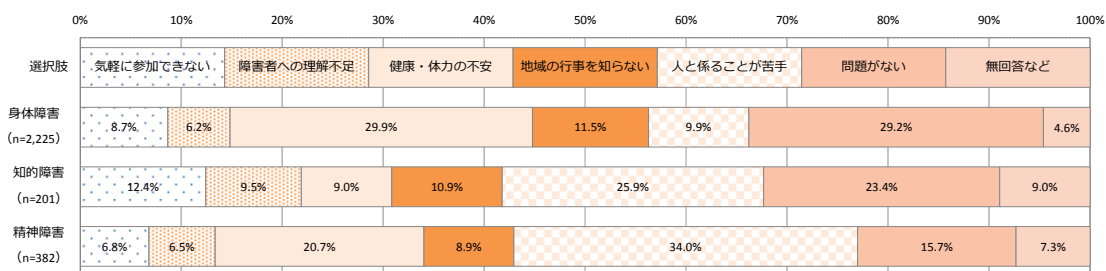
#### (1) 19歳未満



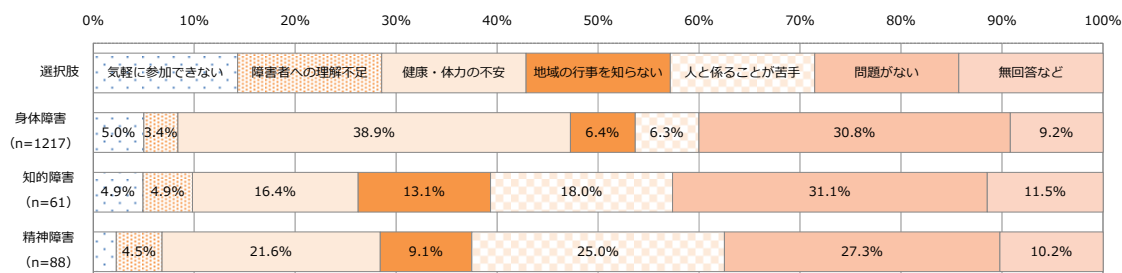
#### (2) 19歳以上 40歳未満



#### (3) 40歳以上 65歳未満



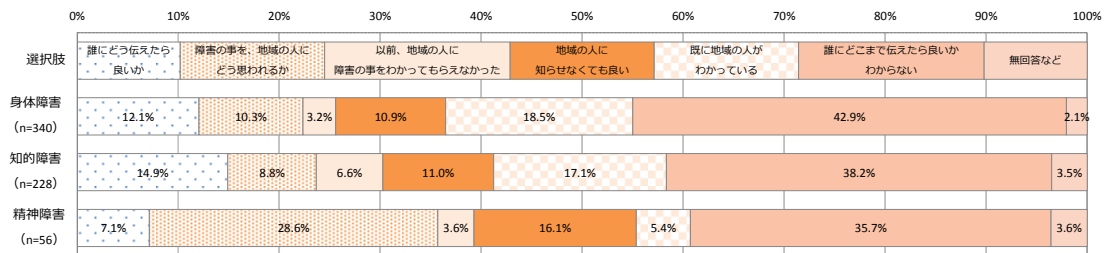
#### (4) 65歳以上



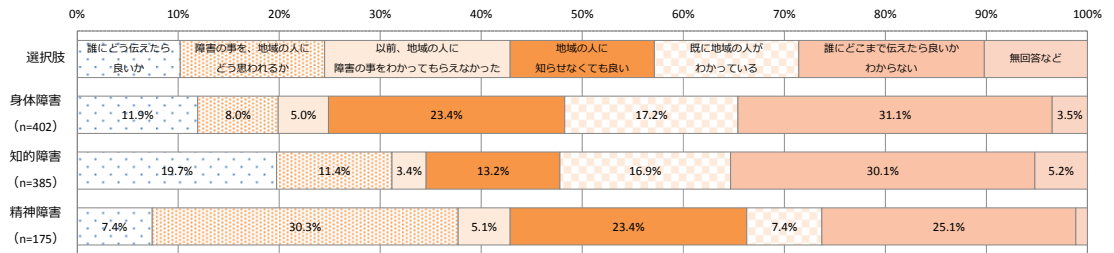
4 自分の障害のことを身近な人に伝えるときに、どんな事が不安か  
-もっとも当てはまるものを選択-

「誰にどう伝えたら良いか」「誰にどこまで伝えたら良いかわからない」と回答する方が、40歳未満では障害種別に係らず4割から5割程度と一定の割合を占めております。  
また、19歳以上の身体・精神障害の方の2割～3割は、「地域の人に知らせなくても良い」と回答をしています。

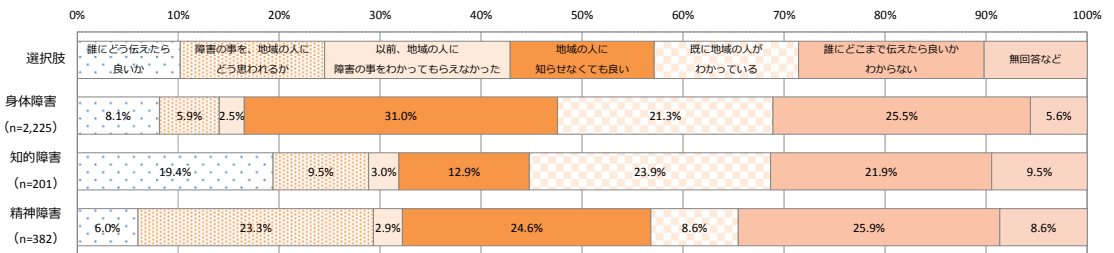
(1) 19歳未満



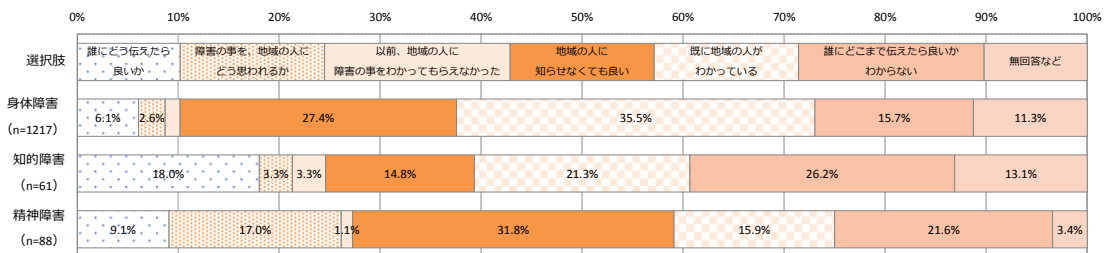
(2) 19歳以上 40歳未満



(3) 40歳以上 65歳未満



(4) 65歳以上

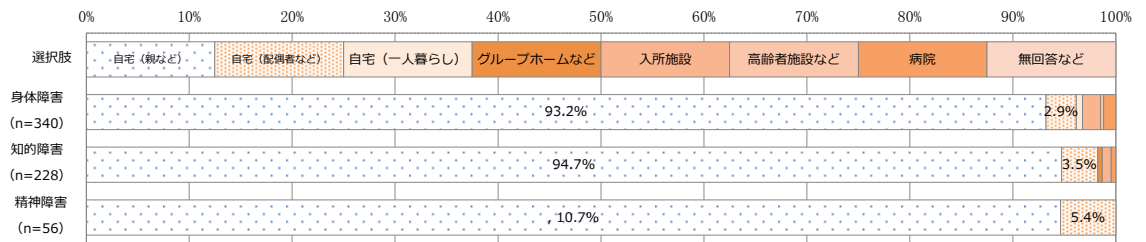


[アンケート回答結果：いまの「暮らし」について]

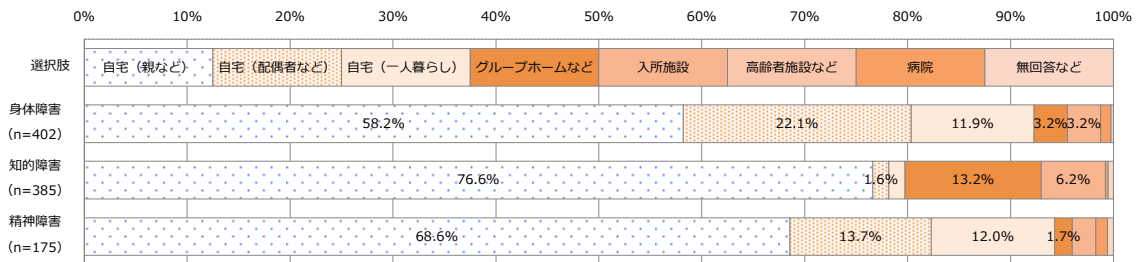
1 いまの暮らしについて、教えてください  
-もっとも当てはまるものを選択-

自宅で親とともに暮らしをしている方が、40歳未満では障害種別に係らず、最低でも6割以上と非常に高い割合を示しております。一方、40歳以降では、身体障害・精神障害の方では、親ではなく配偶者と暮らす方・一人で暮らす方の割合が高くなっています。

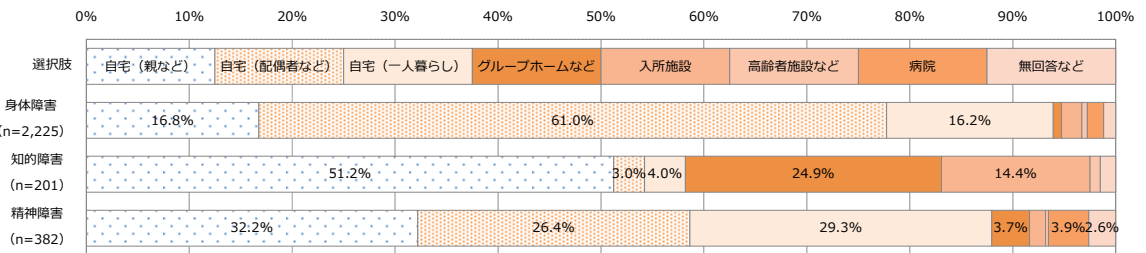
(1) 19歳未満



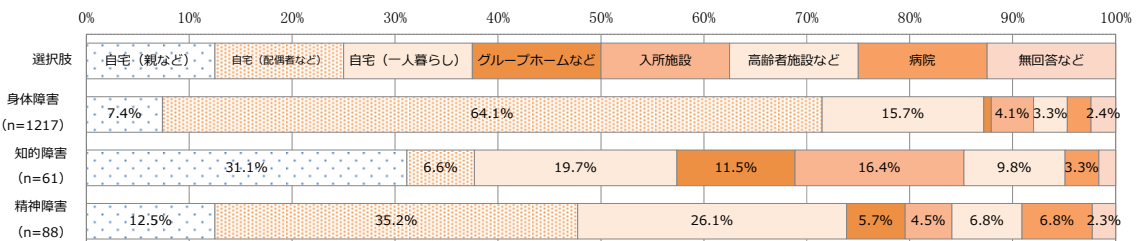
(2) 19歳以上 40歳未満



(3) 40歳以上 65歳未満



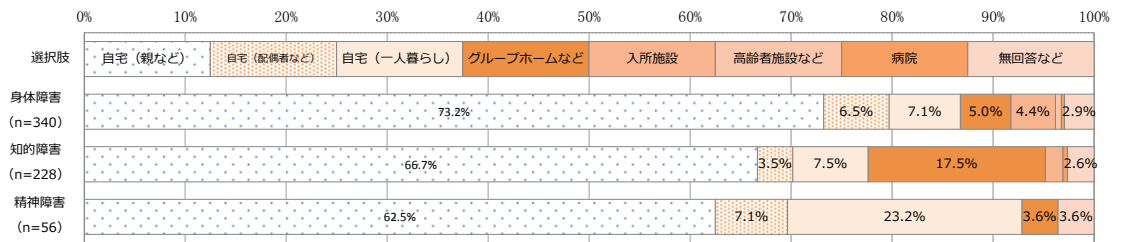
(4) 65歳以上



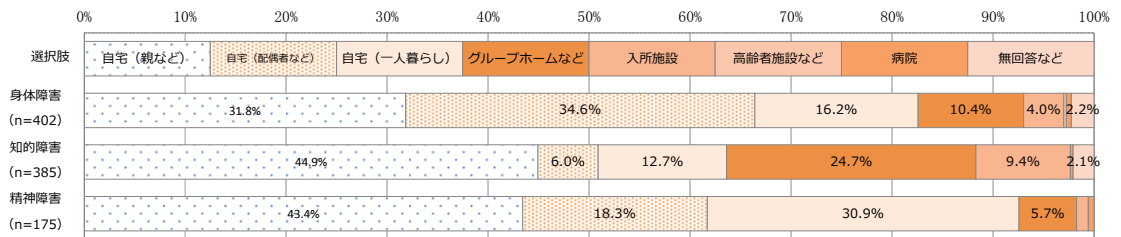
2 今後、どのようなところで暮らしたいか  
-もっとも当てはまるものを選択-

障害種別・年代に係らず、「自宅」と回答をした方の割合が、最低でも4割以上を占めており、65歳未満の精神障害の方では9割近くが「自宅」と回答をしています。一方で、知的障害の方では19歳以上40歳未満の方の2割以上、40歳以上65歳未満の方の3割以上が「グループホームなど」と回答をしています。

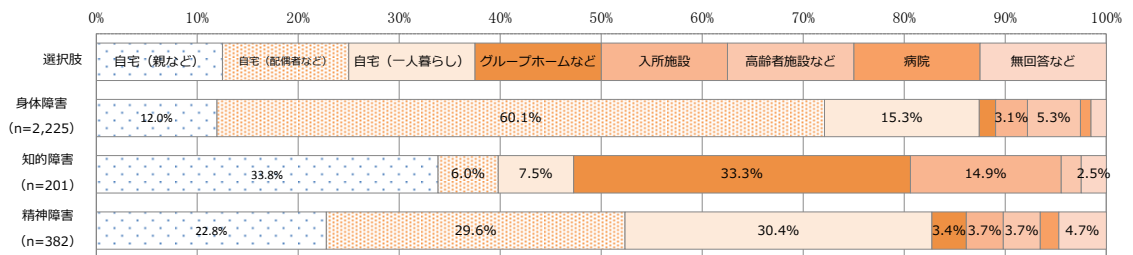
(1) 19歳未満



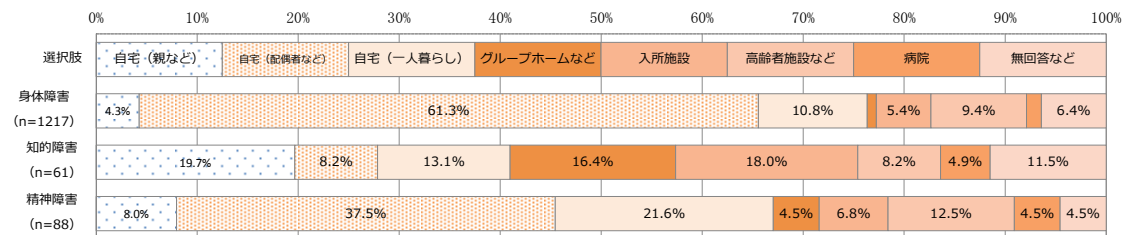
(2) 19歳以上40歳未満



(3) 40歳以上65歳未満



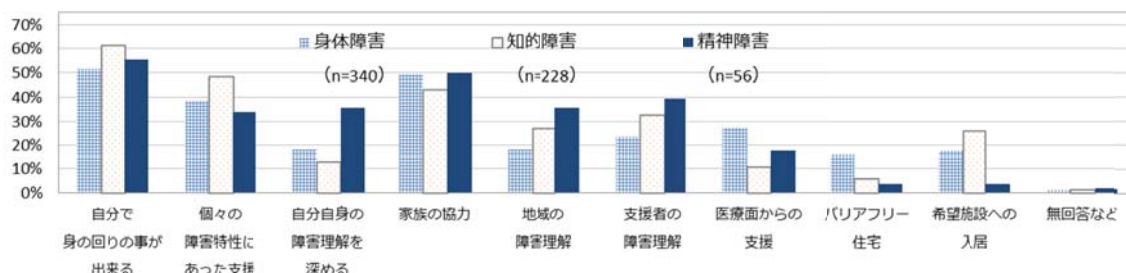
(4) 65歳以上



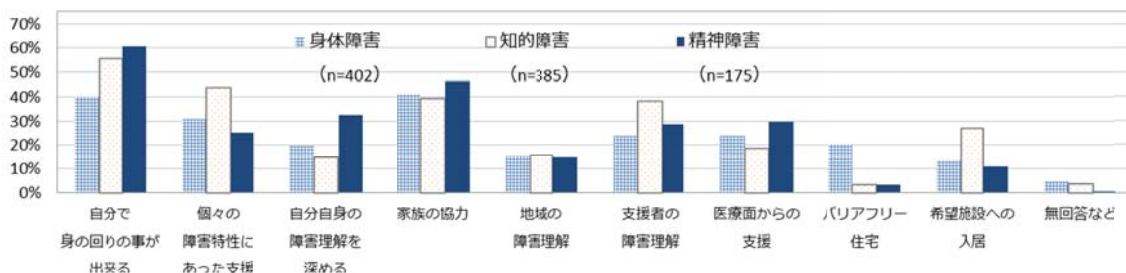
3 暮らしたいところで暮らすために、まず必要なことは何か  
 -当てはまるものを3つまで選択-

年代・障害種別に係らず、「家族の協力」を挙げている方が4割近くをしめています。一方で、「自分で身の回りの事が出来るようになること」と回答している方は、19歳未満では年代・障害種別に係らず5割以上の割合を占めています。しかし、年齢が高くなるにつれ、特に知的障害の方は、「自分で身の回りの事が出来るようになること」と回答している割合が小さくなります。

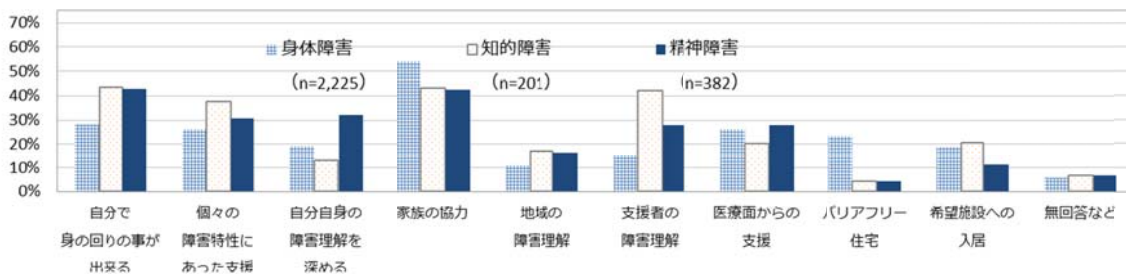
(1) 19歳未満



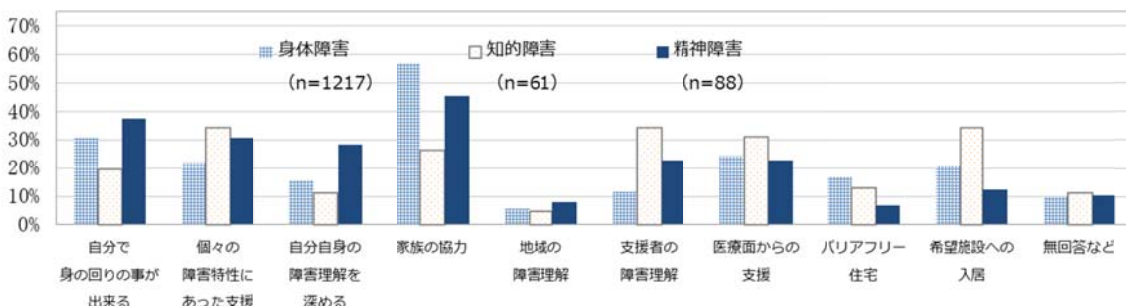
(2) 19歳以上 40歳未満



(3) 40歳以上 65歳未満



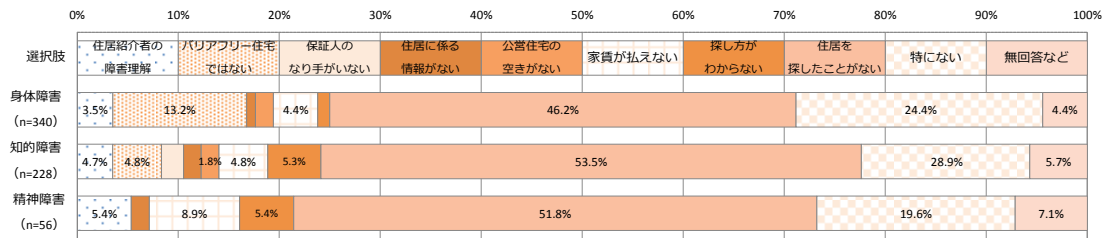
(4) 65歳以上



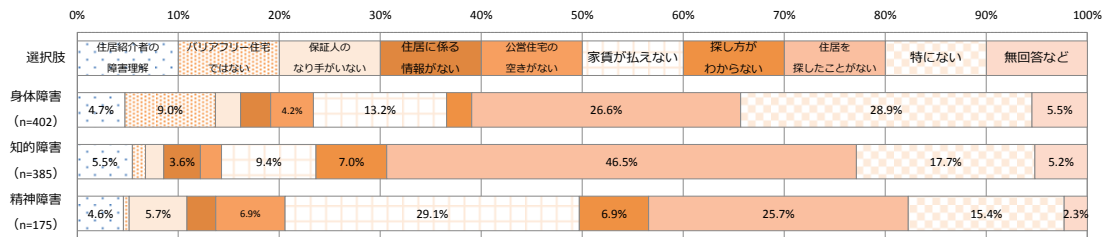
4 住まいを探すときに、もっとも不安なことや困ったことは何か  
-もっとも当てはまるものを選択-

年代・障害の種別に係らず「住居を探したことがない」「特に（不安なことは）ない」と回答をした方が、大きな割合を占めます。  
但し、「家賃が払えない」との回答が19歳以上40歳未満の精神障害の方では約30%を占めています。

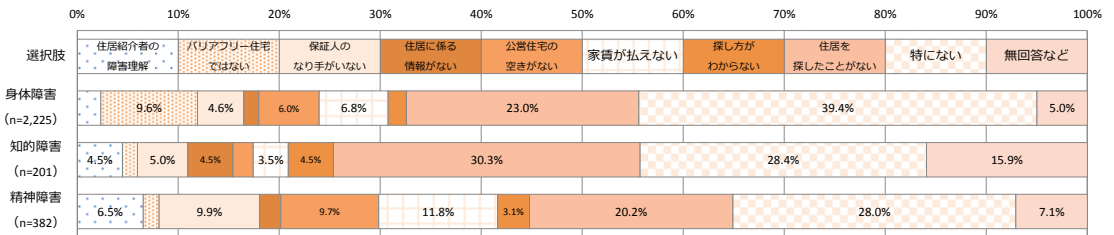
(1) 19歳未満



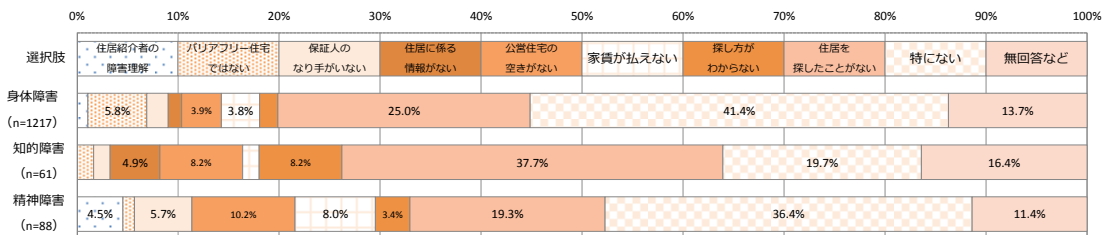
(2) 19歳以上40歳未満



(3) 40歳以上65歳未満



(4) 65歳以上



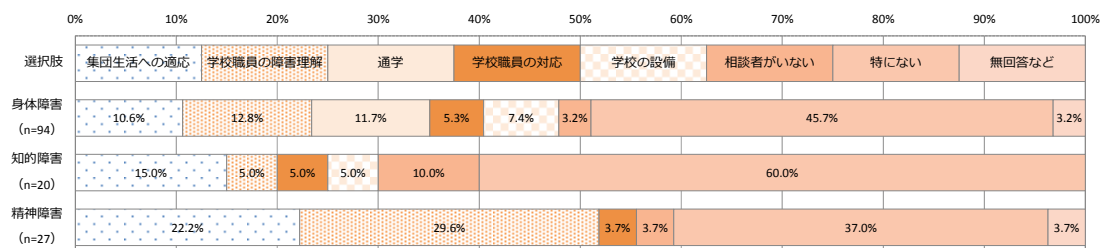




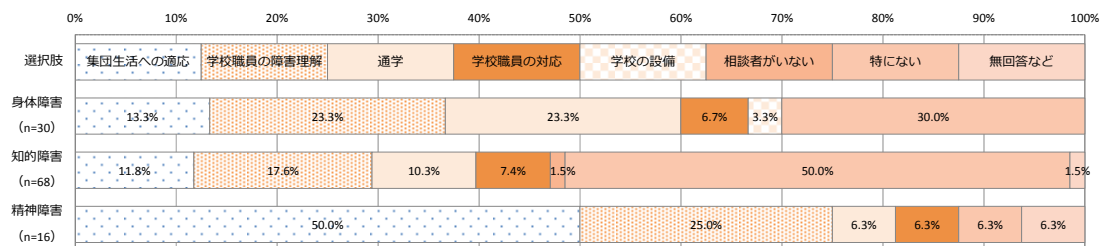
2 学校に通うなかで、おもに困っていることはなんですか  
 -もっとも当てはまるものを選択 (6歳~18歳 限定) -

一般学級、個別支援学級に通っている身体・知的障害の方は「(困りごとは) 特  
 にない」と回答をしている方が大きな割合を占めています。一方で精神障害の方は、  
 「集団生活への適応」「学校職員の障害理解」という回答が大きな割合を占めてお  
 ります。  
 特別支援学校(養護学校)に通っている方は、「(困りごとは) 特にない」と回答  
 をしている方が大きな割合を占めております。

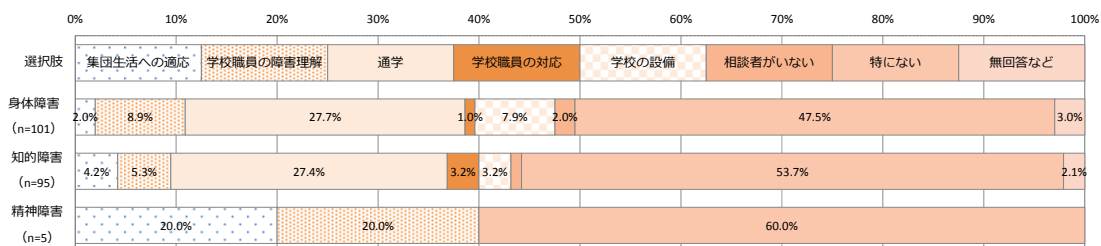
(1) 小・中・高等学校の一般学級に通っている方



(2) 小・中学校の個別支援学級に通っている方



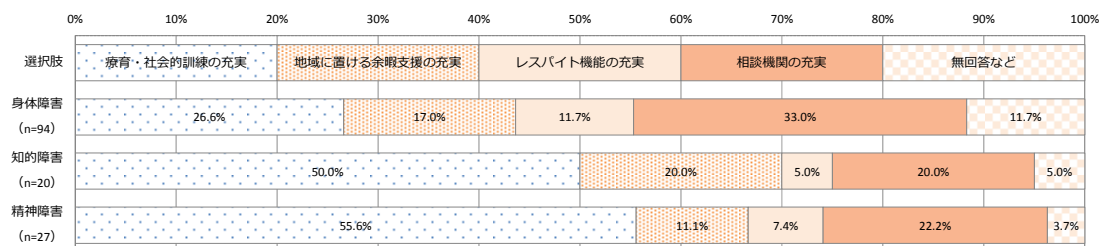
(3) 特別支援学校(養護学校)などに通っている方



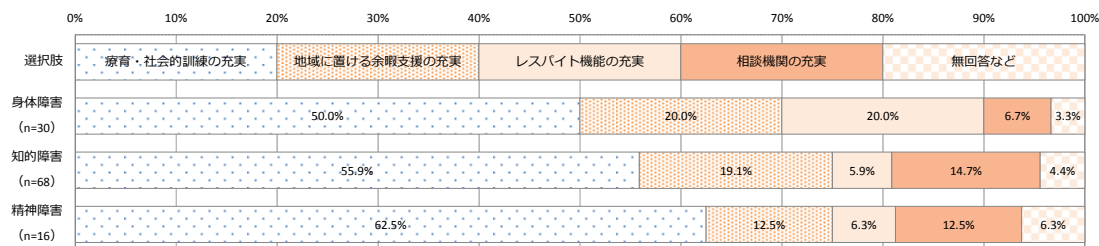
3 学齢期において、充実させてほしい支援は何ですか  
 -もっとも当てはまるものを選択 (6歳~18歳 限定) -

一般学級に通っている方は、障害の種別に係りなく「療育・社会的訓練の充実」「相談機関の充実」を挙げている方が多くの割合を占めております。  
 個別支援学級・特別支援学校（養護学校）に通っている方では、「相談機関の充実」に変わり「地域に置ける余暇活動の充実」「レスパイト機能の充実」といった回答が大きな割合を占めております。

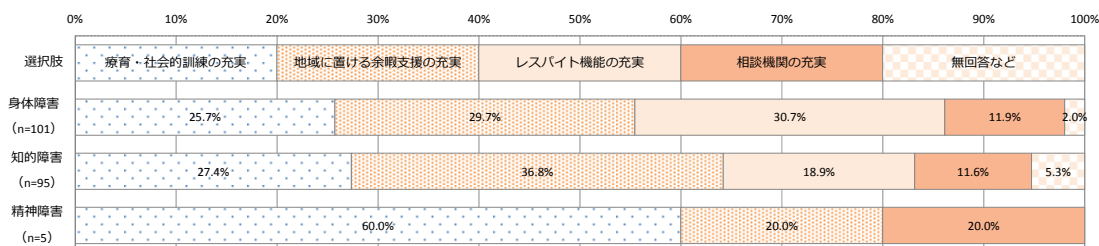
(1) 小・中・高等学校の一般学級に通っている方



(2) 小・中学校の個別支援学級に通っている方



(3) 特別支援学校（養護学校）などに通っている方

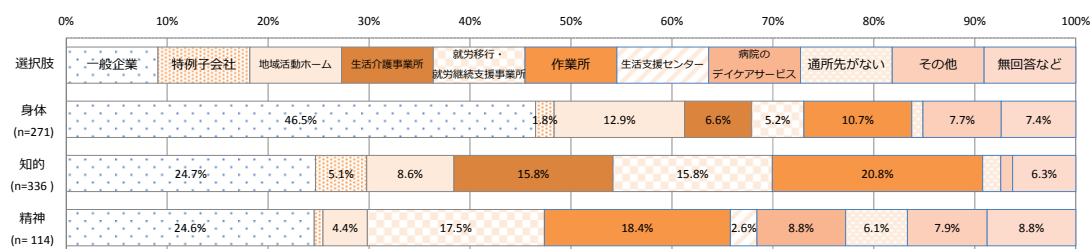


#### 4 いま通っているところ

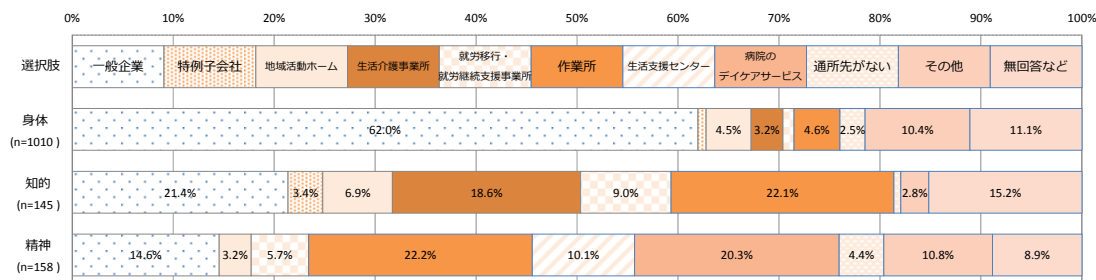
-もっとも当てはまるものを選択 (19歳以上 限定) -

65歳未満の方では、身体障害の場合「企業」と回答が一番大きな割合を占めています。一方で知的・精神障害の場合では、「企業」と回答する方と「作業所」と回答する方の割合が同程度です。  
65歳以上の方では、知的障害の場合では「作業所」と回答する割合が多くなっています。

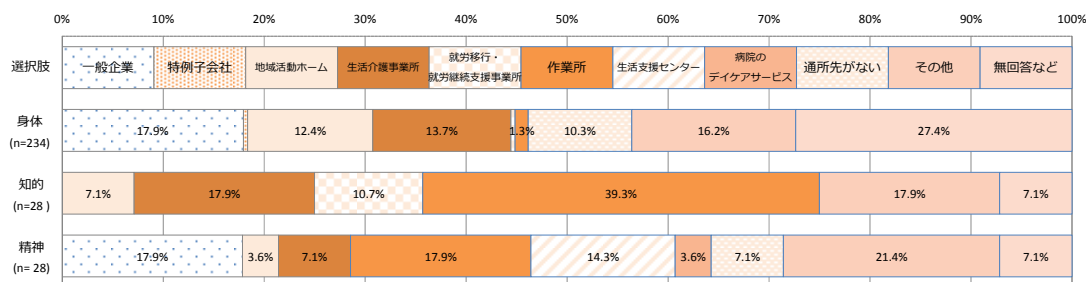
##### (1) 19歳以上 40歳未満



##### (2) 40歳以上 65歳未満



##### (3) 65歳以上

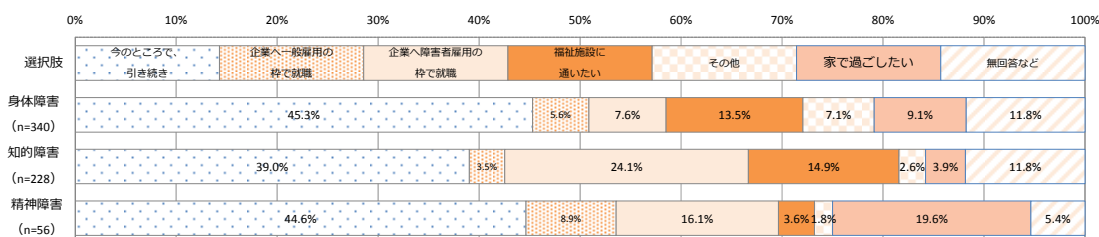


5 今後、日中どんなところで過ごしていきたいか  
-もっとも当てはまるものを選択-

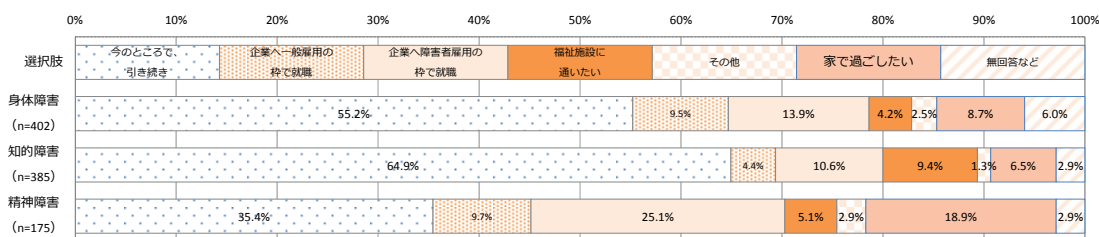
障害種別・年代に係りなく「今のところで引き続き」という回答が一番多くを占めています。

2番目に割合が大きい回答としては、19歳未満40歳以上では「企業への障害者雇用の枠で就職」です、40歳以上では、「家で過ごしたい」との回答です。

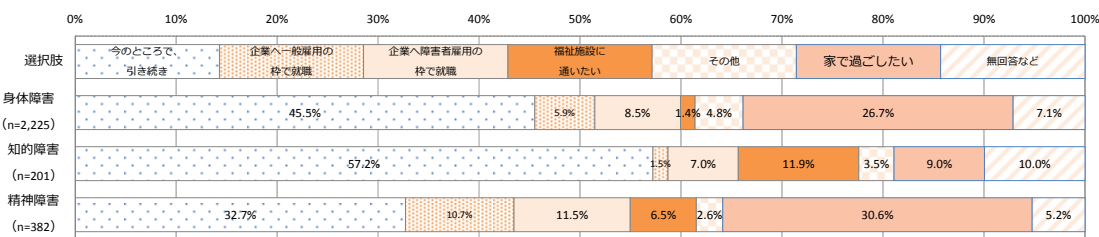
(1) 19歳未満



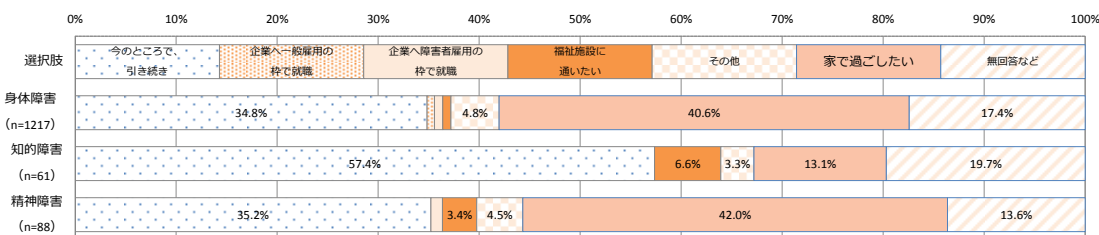
(2) 19歳以上40歳未満



(3) 40歳以上64歳未満



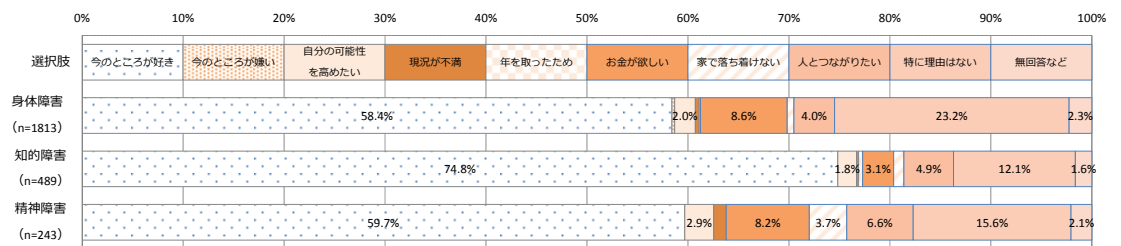
(4) 65歳以上



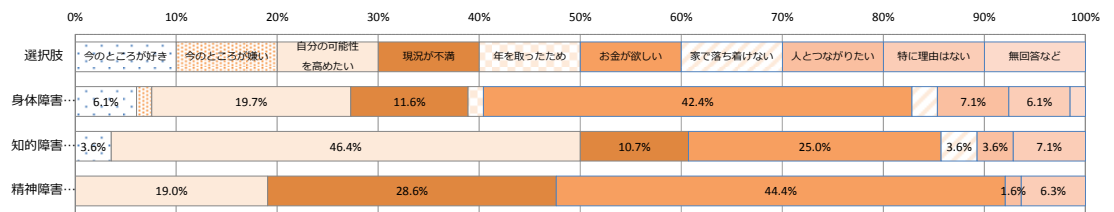
6 その理由はなんですか  
-もっとも当てはまるものを選択-

「今のところで、引き続き生活をしたい」と回答した方の多くは、「今のところが好き」という理由を挙げています。  
「一般雇用や障害者雇用で企業へ就職をしたい」と回答した方の多くは、「お金がほしい」という理由を挙げています。  
「福祉施設に通所したい」と回答した方の 2 割は、どの障害でも「人とつながりたい」という理由によります。

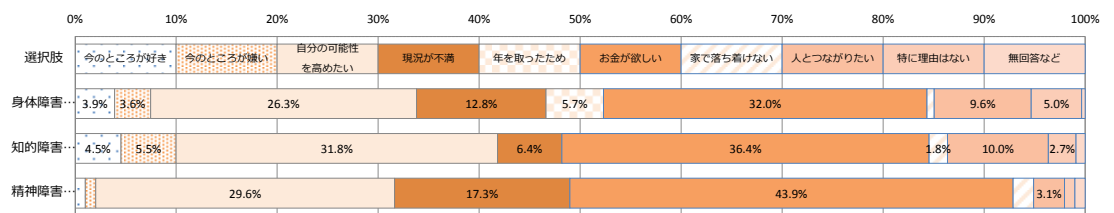
(1) 今のところで、引き続き生活をしたいと回答をした方



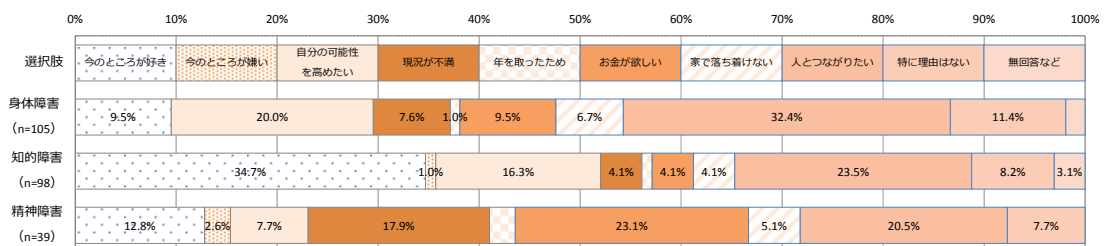
(2) 企業へ一般雇用の枠で就職したいと回答をした方



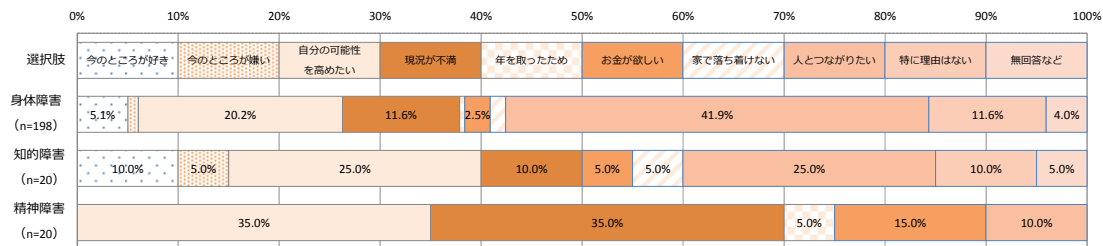
(3) 企業へ障害者雇用の枠で就職したいと回答をした方



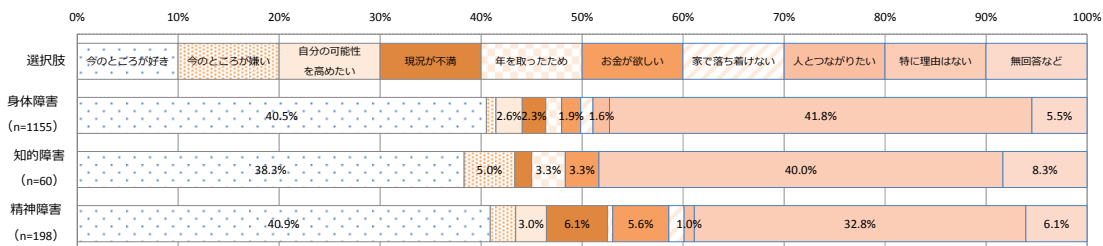
(4) 福祉施設（作業所など）に通いたいと回答した方



(5) その他（余暇施設「横浜ラポール」など）に通いたいと回答した方



(6) 家で過ごしたいと回答をした方



## 7 日中過ごす施設で、おもに困っていることは

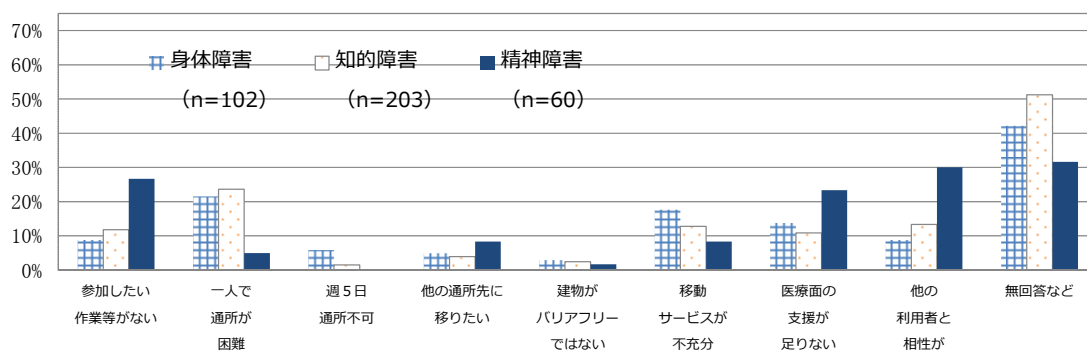
-当てはまるものを3つまで選択-

(平日の日中に福祉施設に通所している19歳以上に限定)

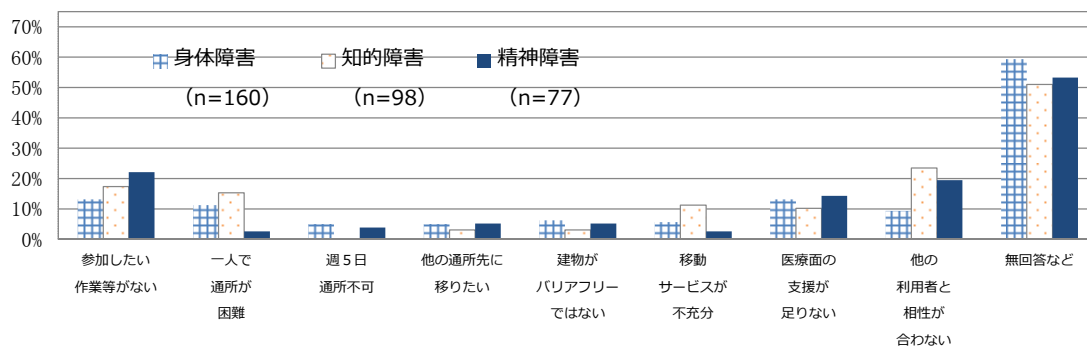
身体障害の方では、「一人での通所が困難」「移動サービスが不十分」、知的障害の方では「参加した作業などが無い」「他の利用者との相性」、精神障害の方では、「参加したい作業が無い」「医療面での支援が足りない」「他の利用者との相性」といった回答を挙げています。

但し、障害種別・年代に係りなく「無回答」が、大きな割合を占めております。

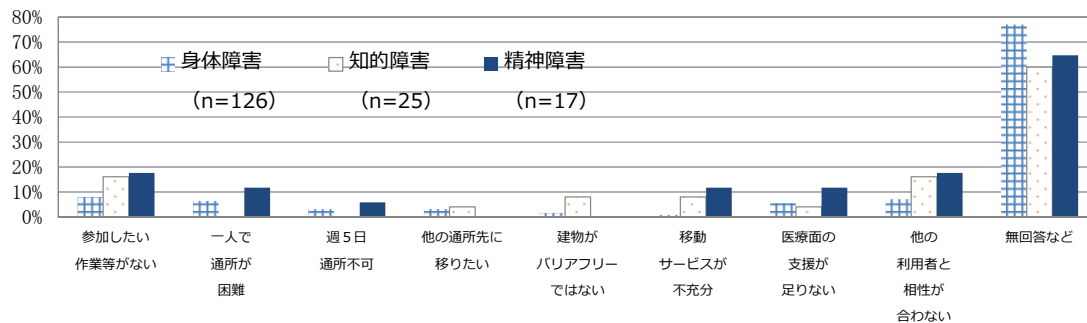
### (1) 19歳以上 40歳未満



### (2) 40歳以上 65歳未満



### (3) 65歳以上



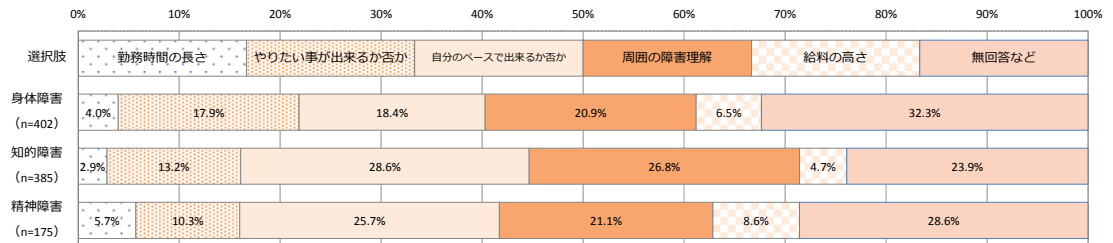


[アンケート回答結果：働くことについて]

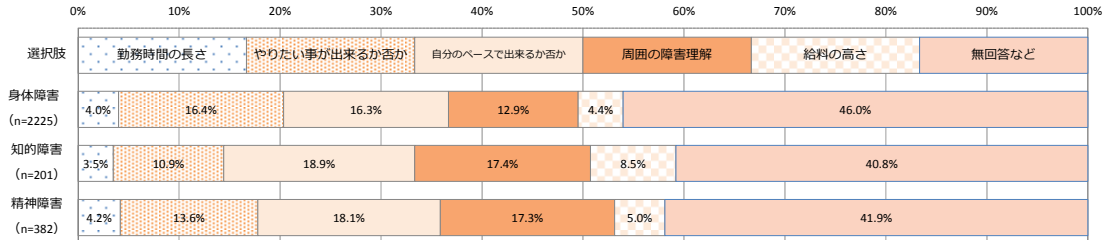
- 1 働くにあたって、いちばん大事だと思っていることは  
-もっとも当てはまるものを選択 (19歳以上) -

年代・障害種別に係らず「自分のペースで出来るか否か」「周囲の障害利害」が、大切であると回答した方の割合が大きいです。  
但し、障害種別に係らず回答がなかった方は、40歳未満では3割前後、65歳未満では4割、65歳以上では6割と大きな割合を占めています。

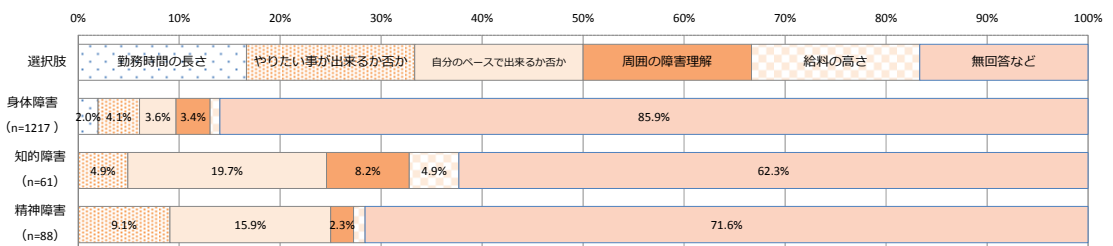
(1) 19歳以上 40歳未満



(2) 40歳以上 65歳未満



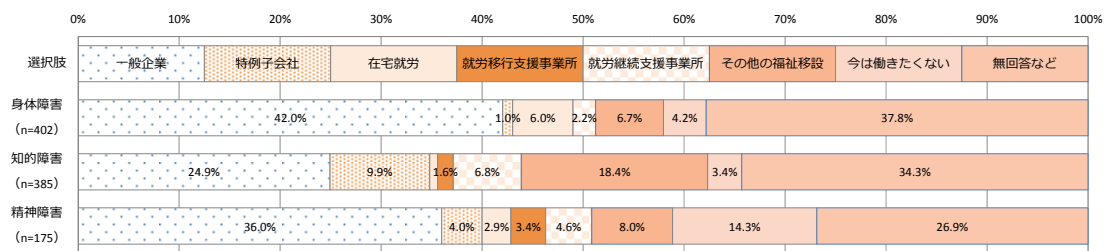
(3) 65歳以上



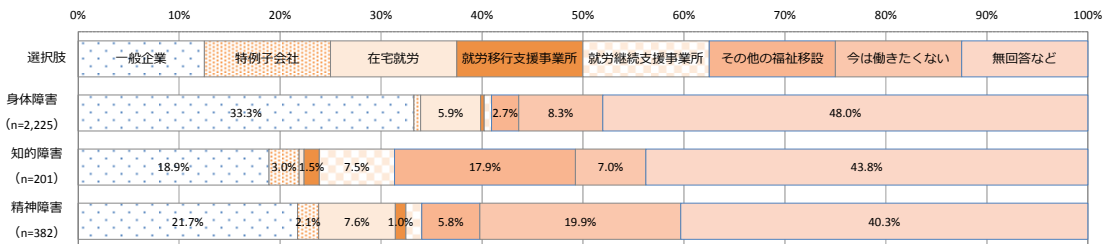
2 これから働きたい・通いたい場所はどこか  
 -もっとも当てはまるものを選択 (19歳以上 限定) -

障害種別に係らず働きたい場所として「一般企業」を挙げている方の割合が大きいです。年齢が高くなるにつれ回答者に占める割合は小さくなります。  
 「福祉施設」を挙げている方は、知的障害の方では年代に係らず 2 割程度を占めています。また、40 代以上の精神障害の方でも、2 割程度を占めています。

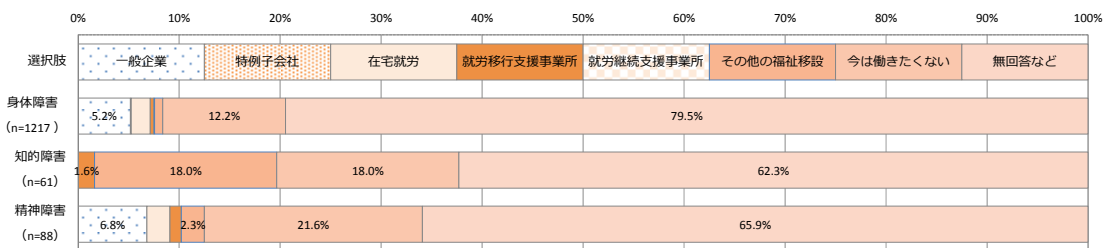
(1) 19歳以上 40歳未満



(2) 40歳以上 65歳未満



(3) 65歳以上

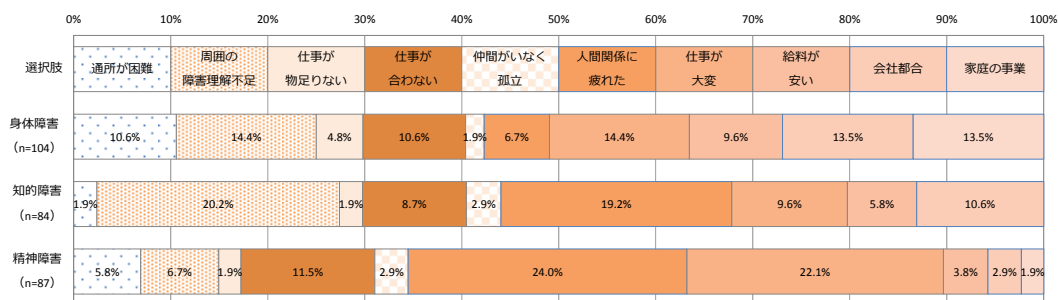


### 3 仕事や通所先を辞めたおもな理由は何ですか

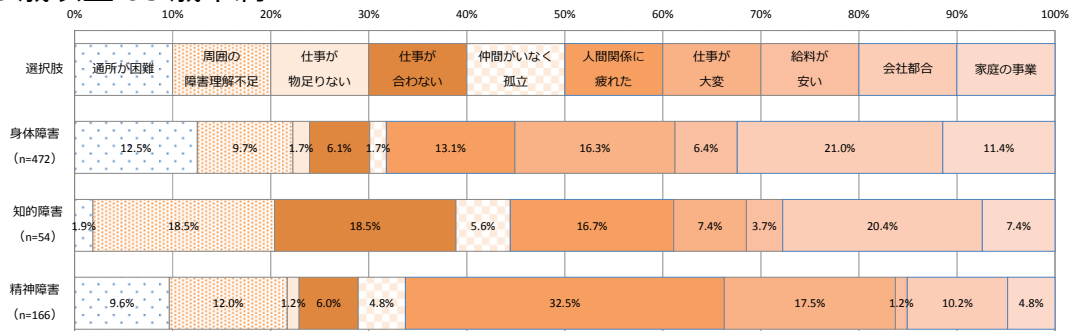
-もっとも当てはまるものを選択 (19歳以上の有効な回答をした方に限定) -

辞めた理由として、「周囲の障害理解が不足している」「人間関係に疲れた」と回答をしている方が、65歳以上の知的障害の方を除いては、年代・障害種別を問わず一定の割合を占めています。

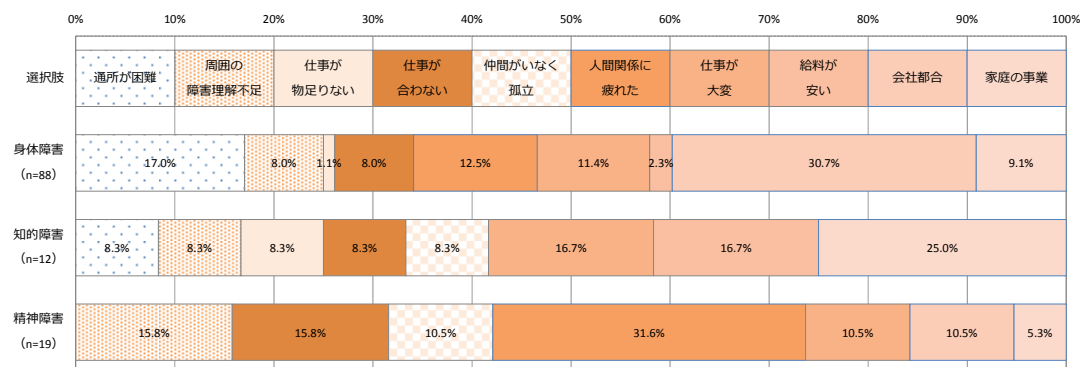
#### (1) 19歳以上 40歳未満



#### (2) 40歳以上 65歳未満



#### (3) 65歳以上



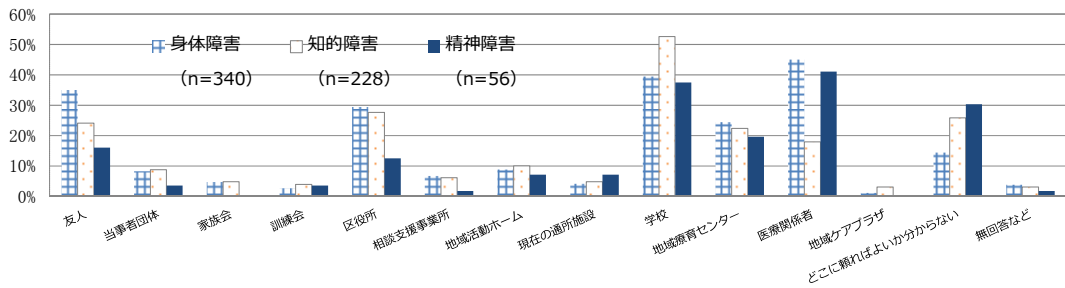
[アンケート回答結果：まわりとの繋がりについて、うかがいます。]

- 1 何か困ったことがあったとき、家族以外に、まずどこに頼ろうと思いますか  
-当てはまるものを3つまで選択 -

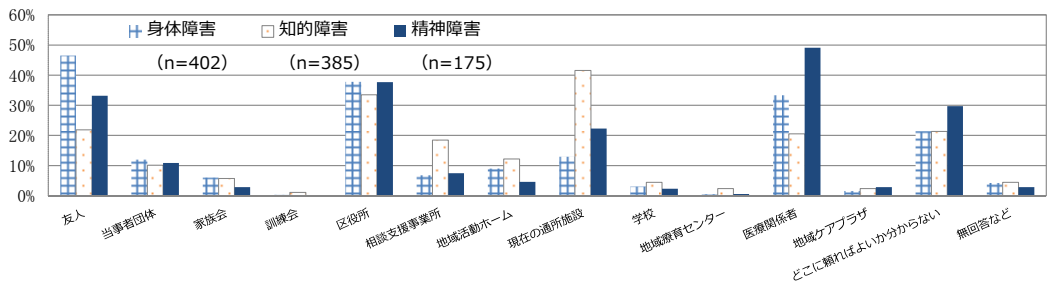
19歳未満の場合、身体・精神障害の方ともに「学校」や「医療関係者」との回答が多くなっています。知的障害の方では「学校」に次いで「どこに頼れば良いかわからない」という回答が多くなっています。

19歳以上の場合では、どの障害も「区役所」と回答する割合が多くなっています。

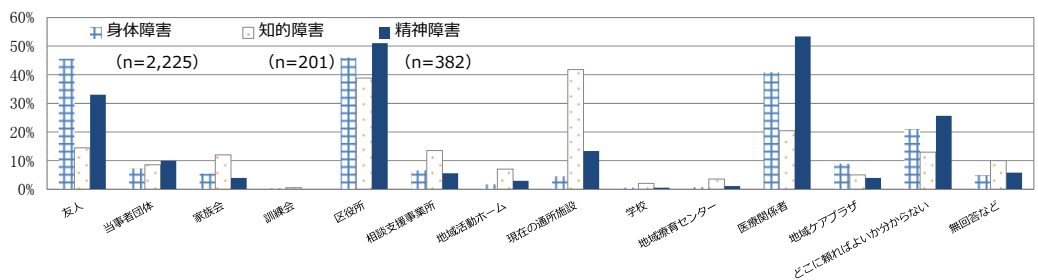
(1) 19歳未満



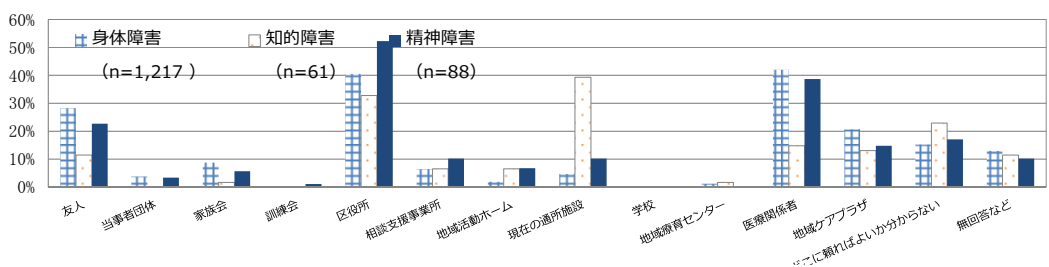
(2) 19歳以上 40歳未満



(3) 40歳以上 65歳未満



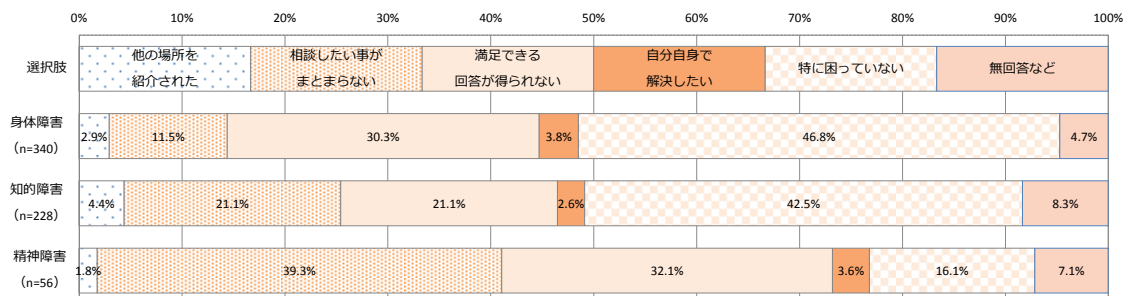
(4) 65歳以上



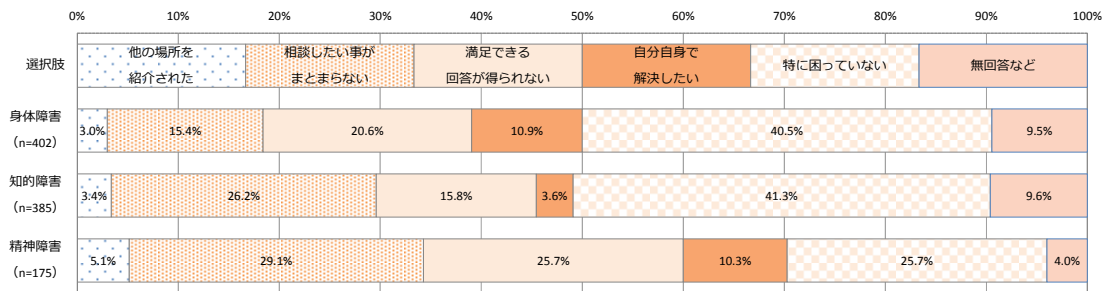
2 今まで相談したときに、困ったことは、どんなことですか  
 -もっとも当てはまるものを選択-

19歳以上65歳未満の知的・精神障害の方では、「相談したいことがまとまらない」「満足できる回答が得られない」という回答が2割程度を占めています。  
 一方で、障害種別・年代に係りなく「特に困っていない」という回答が2割から4割程度を占めています。

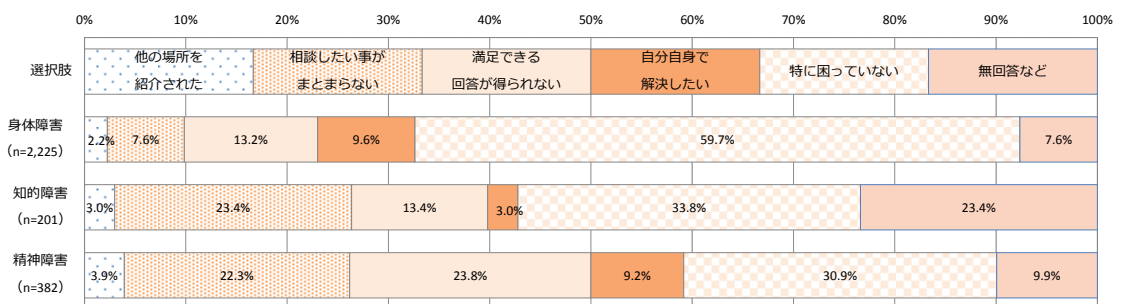
(1) 19歳未満



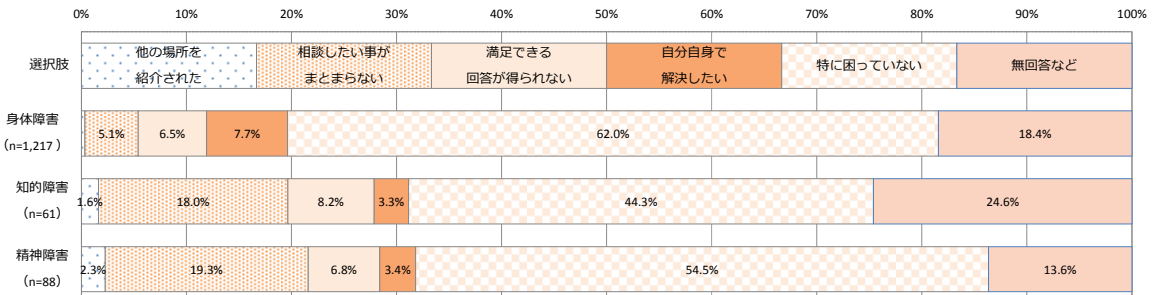
(2) 19歳以上40歳未満



(3) 40歳以上65歳未満



(4) 65歳以上



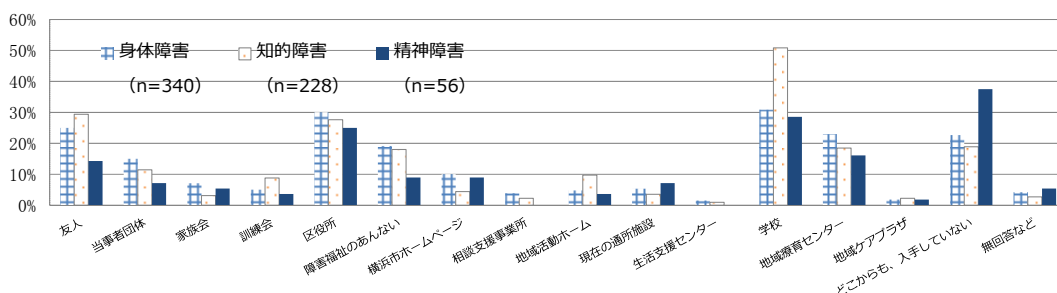
3 障害福祉にかかわる情報について、家族以外にどこから情報を入手していますか  
 -当てはまるものを全て選択 -

障害種別・年代に係らず「区役所」と回答する方の割合が2割から4割を占めています。

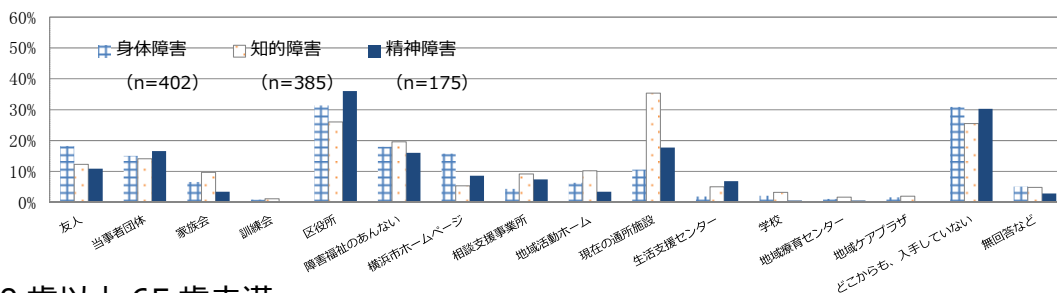
一方で、19歳未満の知的障害の方では「区役所」よりもは「学校」、19歳以上では「現在の通所施設」と回答する割合が他の選択肢よりも多くなっています。

また、19歳以上の身体・精神障害の方では、「どこからも入手していない」と回答が、3割程度占めています。

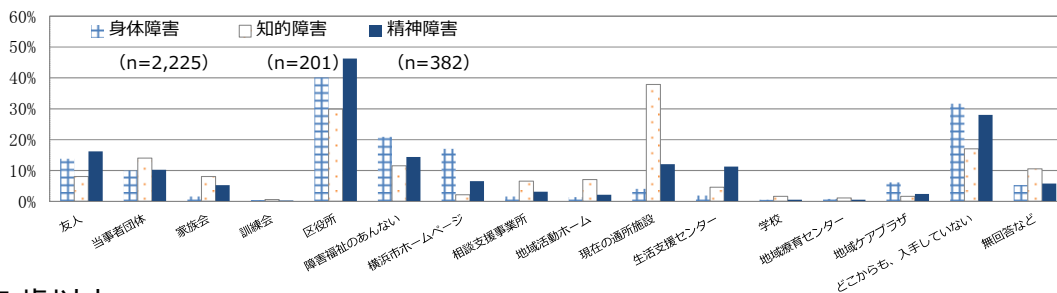
(1) 19歳未満



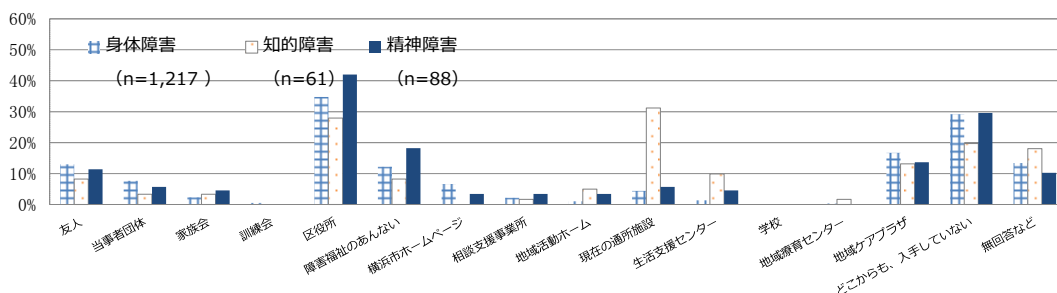
(2) 19歳以上 40歳未満



(3) 40歳以上 65歳未満



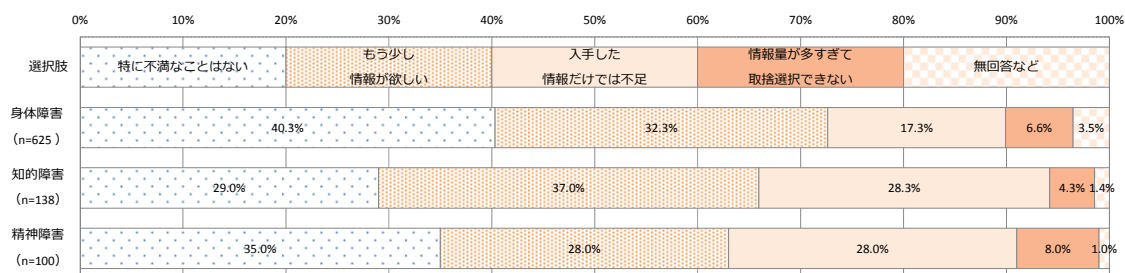
(4) 65歳以上



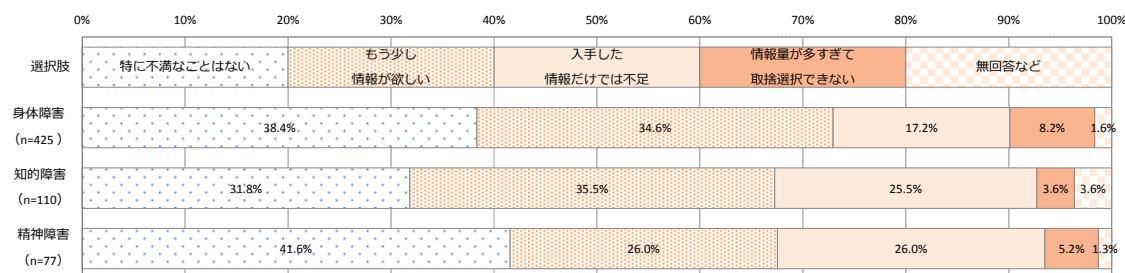
4 前問で選択した場所や人から入手した情報について、不満に感じたことはありますか  
 -一つ選ぶ-

「区役所」「横浜市ホームページ」を比較すると、知的・精神障害の方では、「入手した情報だけでは不足」と回答をしている方が「横浜市ホームページ」では15ポイント程度高くなっています。

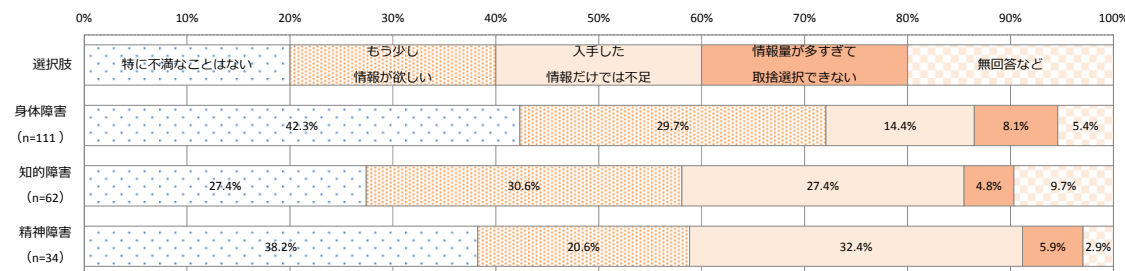
(1) 友人



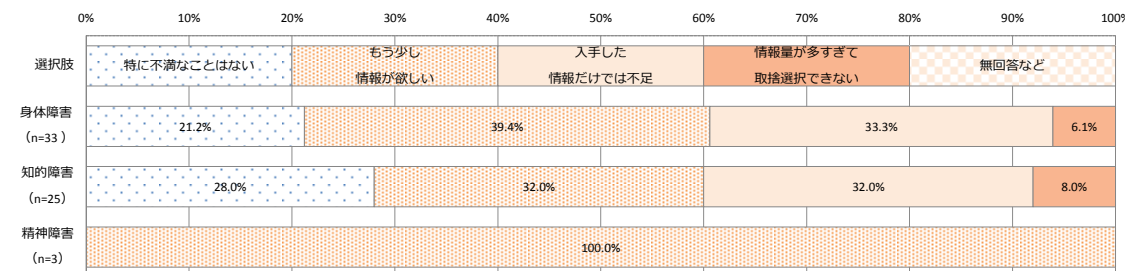
(2) 当事者団体



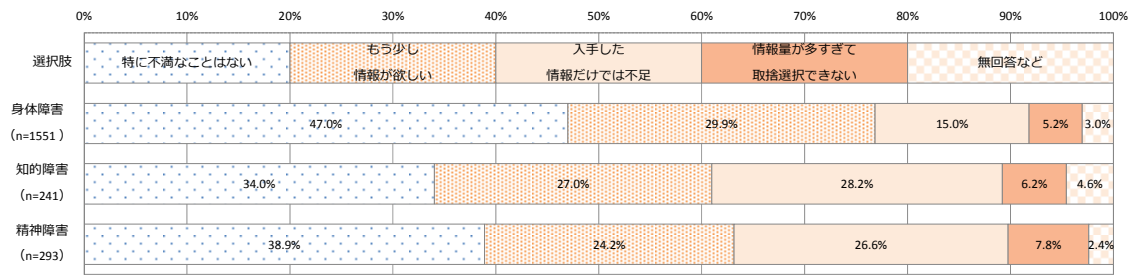
(3) 家族会



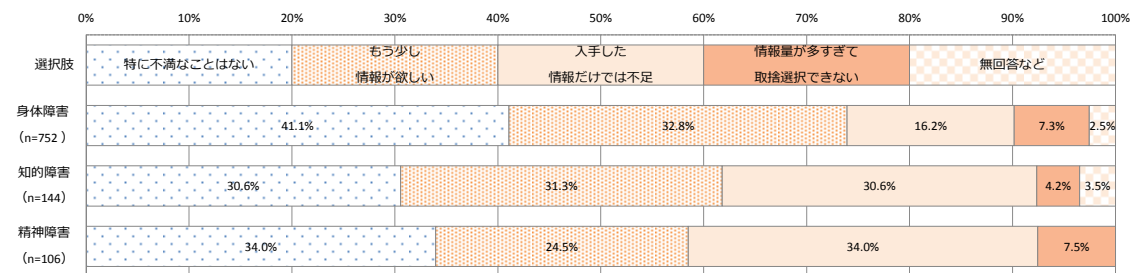
(4) 訓練会



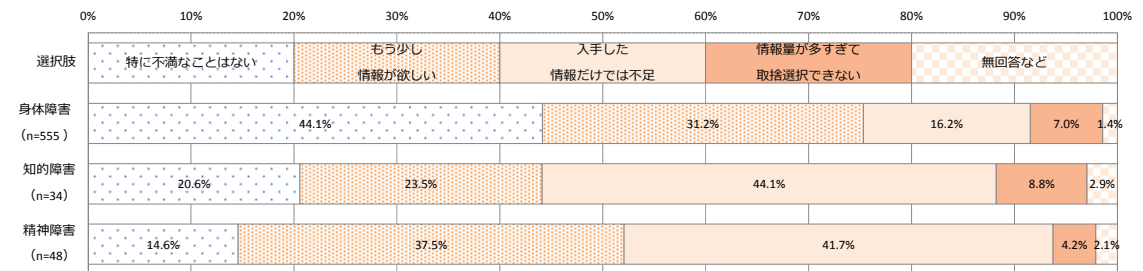
## (5) 区役所



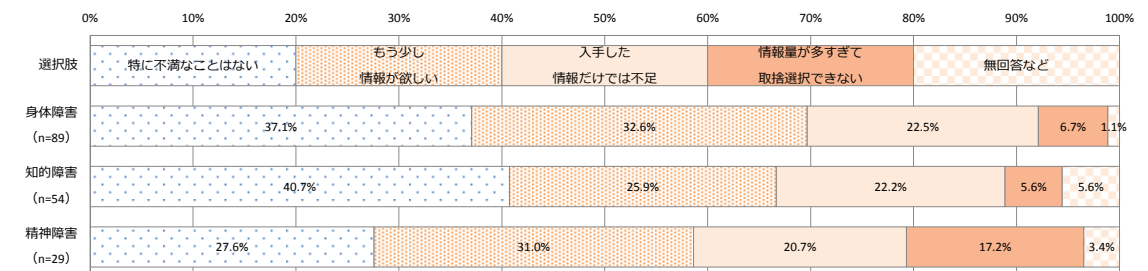
## (6) 障害福祉のあんない



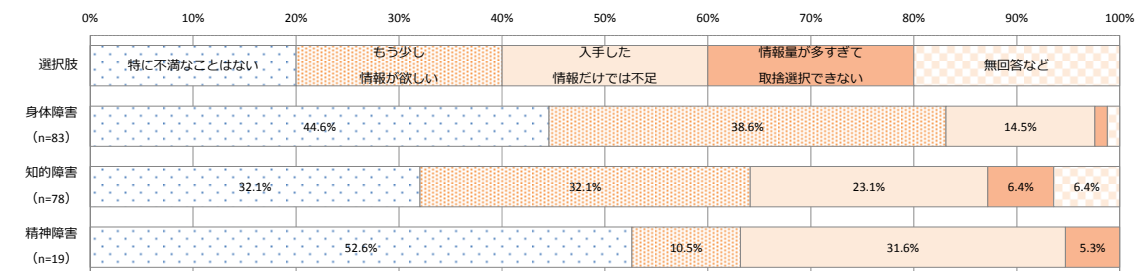
## (7) 横浜市ホームページ



## (8) 相談支援事業所

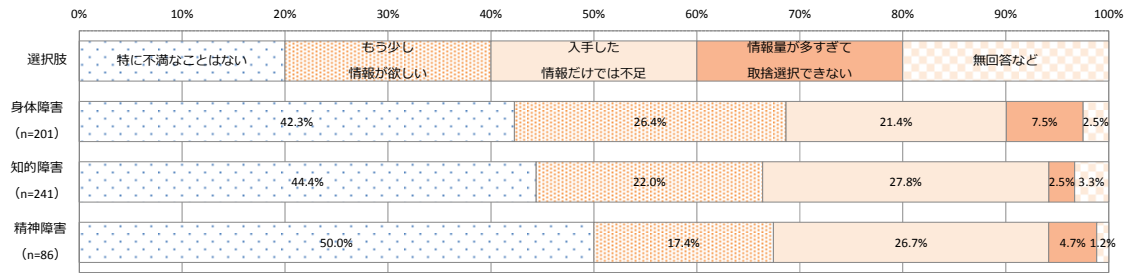


## (9) 地域活動ホーム

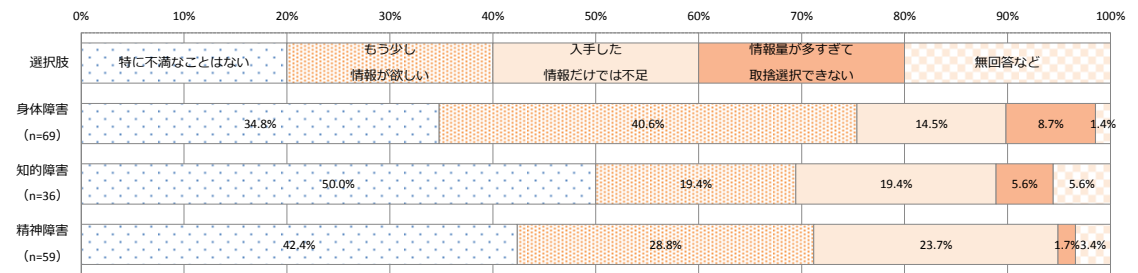




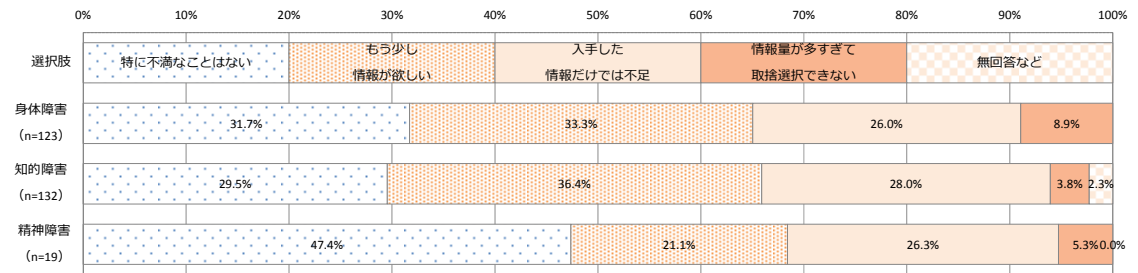
## (10) 現在、通っている福祉移設



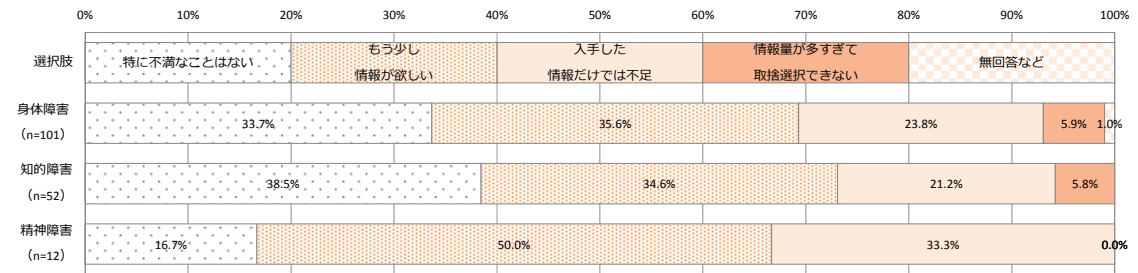
## (11) 生活支援センター



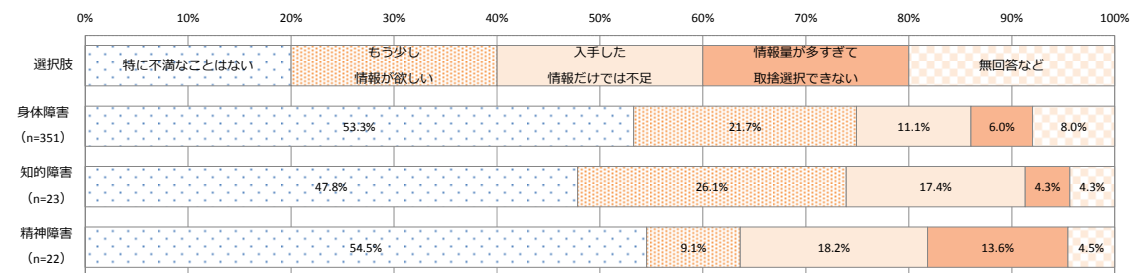
## (12) 学校



## (13) 地域療育センター



## (14) 地域ケアプラザ

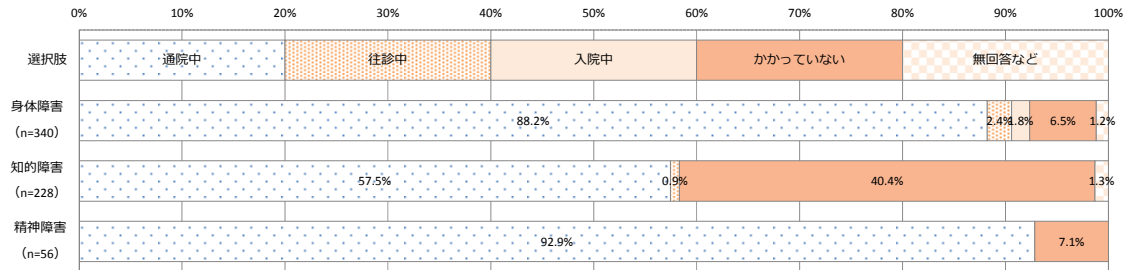


[アンケート回答結果：医療と健康について、うかがいます。]

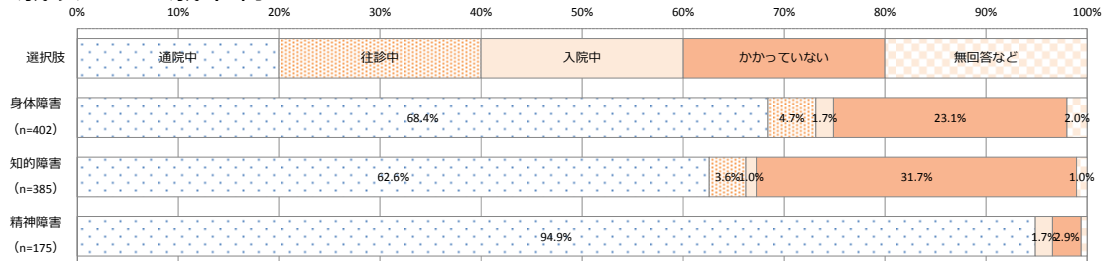
1 現在、医療機関にかかっていますか  
-当てはまるものを1つ選択 -

知的障害の方では、身体・精神障害の方と比べて、「医療機関にかかっていない」割合が大きいです。19歳未満では4割、19歳以上40歳未満では3割、65歳未満では2割が医療機関にかかっていません。

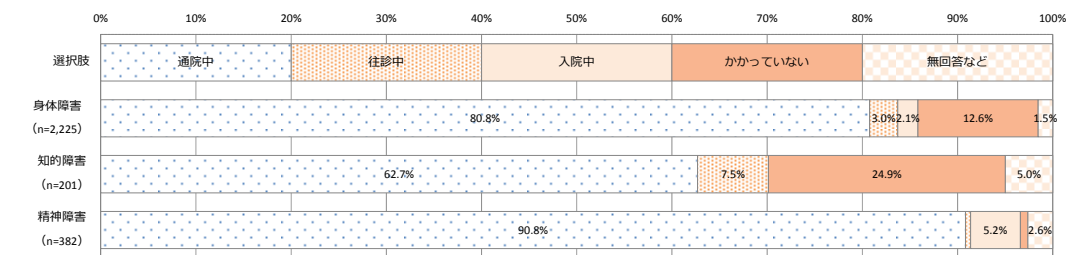
(1) 19歳未満



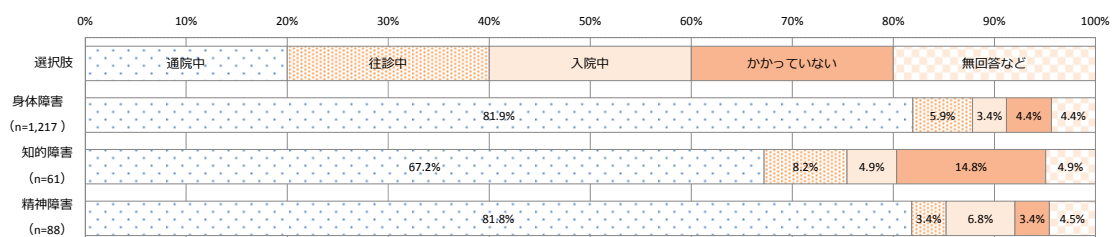
(2) 19歳以上40歳未満



(3) 40歳以上65歳未満



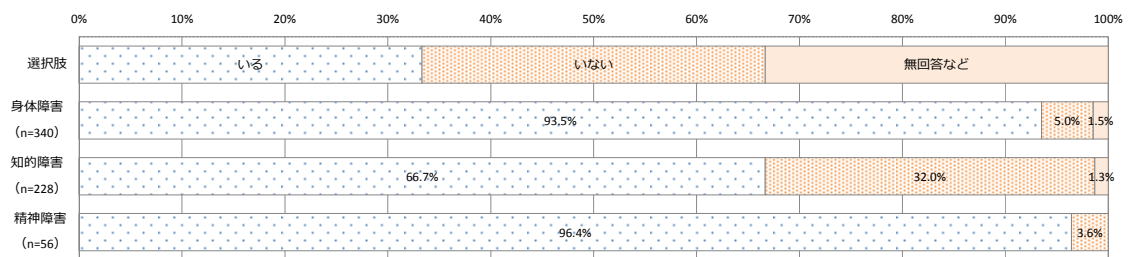
(4) 65歳以上



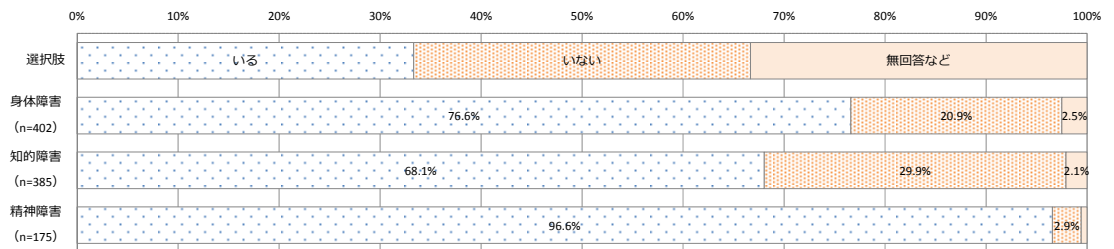
2 現在、主治医はいますか  
 -当てはまるものを1つ選択 -

知的障害の方では、身体・精神障害の方と比較し「主治医がいない」割合が大きいです。ただし、高齢になるにつれ、「主治医がいない方」の割合が小さくなります。

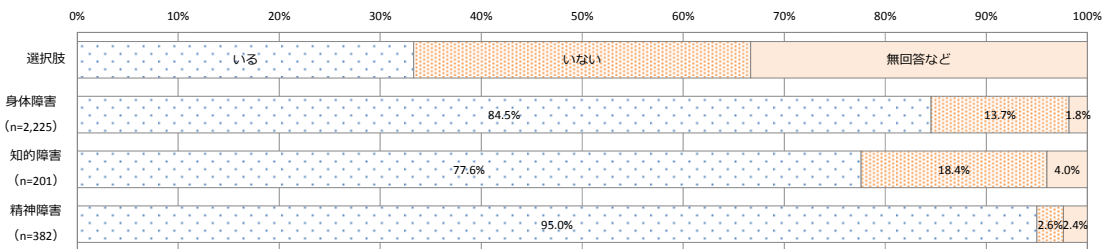
(1) 19歳未満



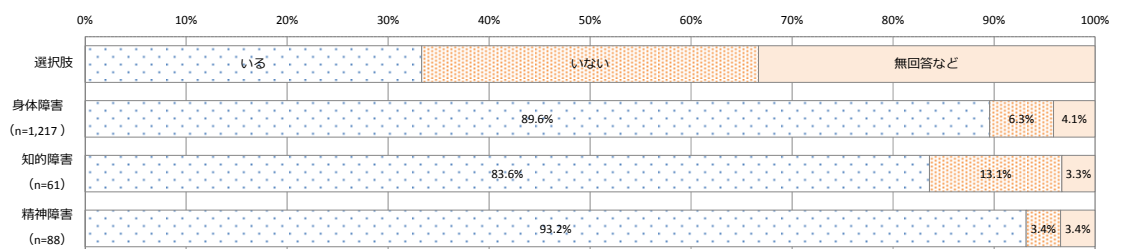
(2) 19歳以上 40歳未満



(3) 40歳以上 65歳未満



(4) 65歳以上



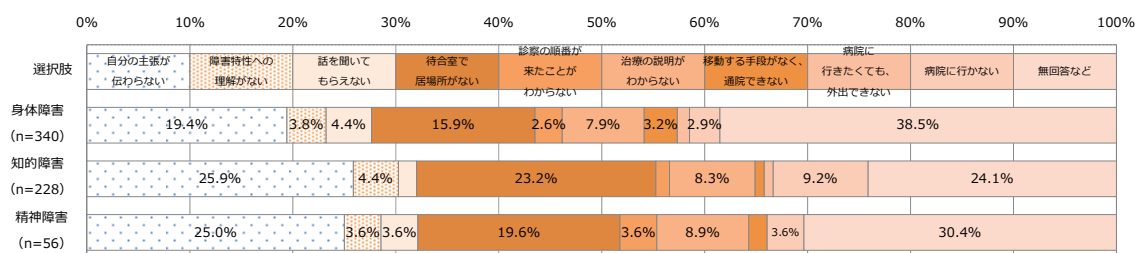
### 3 病院に行く時で、おもに困ったことはなんですか

- 当てはまるものを1つ選択 -

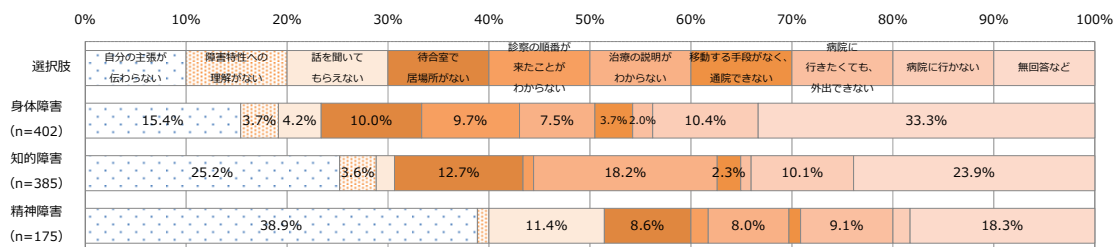
知的・精神障害の方では年代に係りなく「自分の主張が伝わらないこと」を挙げている方が大きな割合を占めております。一方、身体障害の方では19歳以上の場合、困りごととして特色的なものはありません。

一方で、障害種別・年代に係りなく回答がない方が大きな割合をしめております。

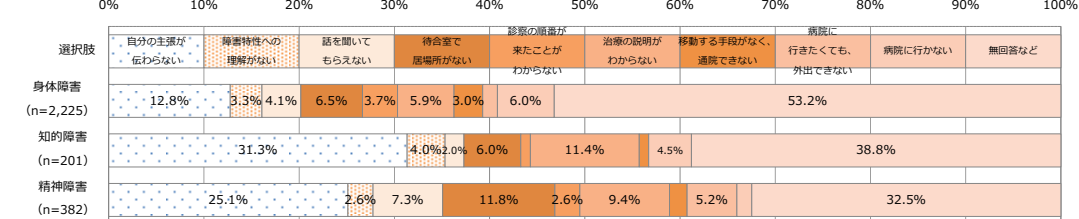
#### (1) 19歳未満



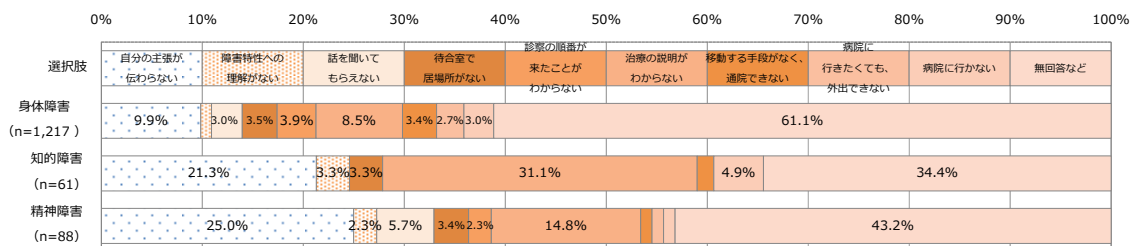
#### (2) 19歳以上 40歳未満



#### (3) 40歳以上 65歳未満



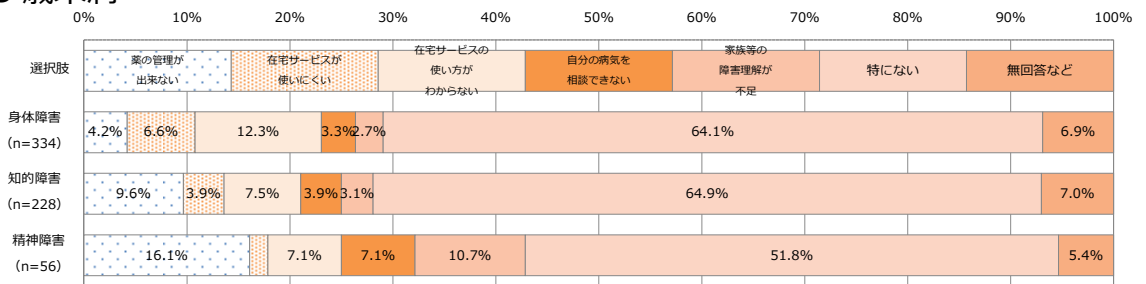
#### (4) 65歳以上



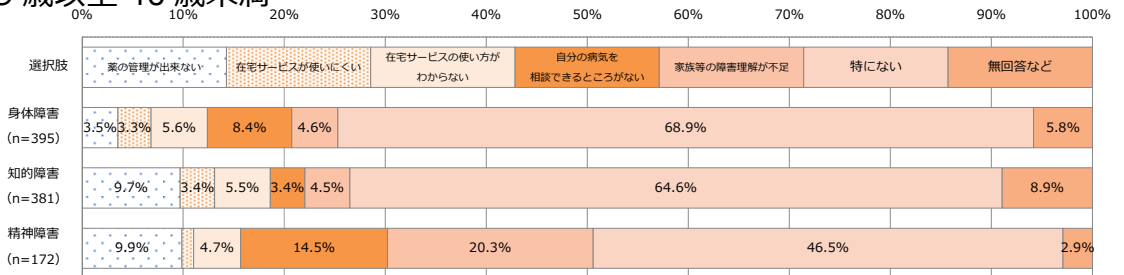
4 自宅にいて困ることは何ですか (入院している人は除く)  
 -当てはまるものを1つ選択 -

障害種別・年代に係りなく、「困りごととは特にない」と回答をしている方が、大きな割合を占めております。

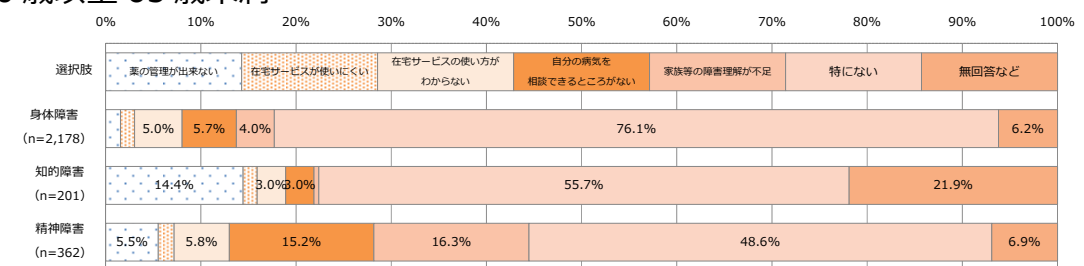
(1) 19歳未満



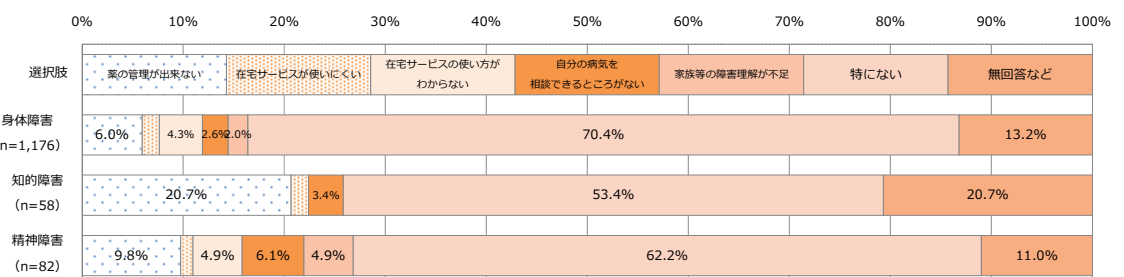
(2) 19歳以上 40歳未満



(3) 40歳以上 65歳未満



(4) 65歳以上

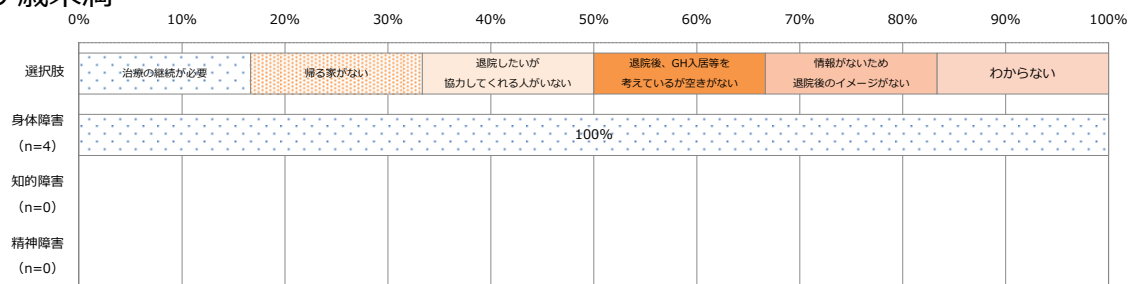


## 5 病院での生活が長くなっている理由はどのようなものですか

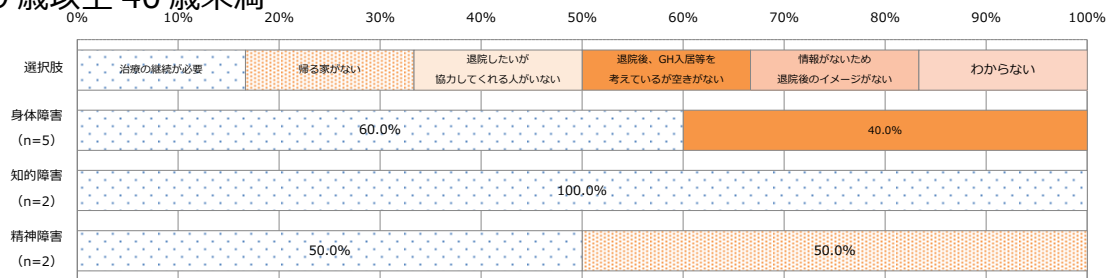
- 当てはまるものを1つ選択 (1年以上、入院をしている方に限定) -

障害種別・年代に係らず「治療の継続の必要性」を挙げている方が、大きな割合を占めています。

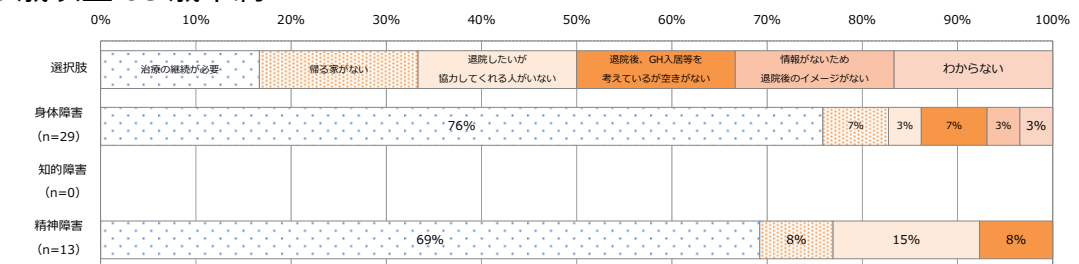
### (1) 19歳未満



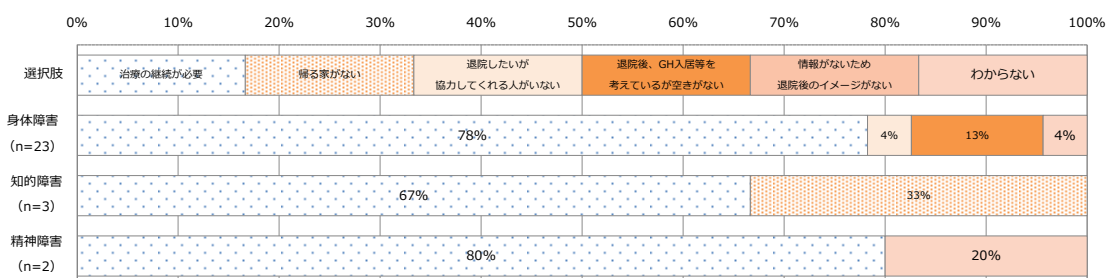
### (2) 19歳以上 40歳未満



### (3) 40歳以上 65歳未満



### (4) 65歳以上



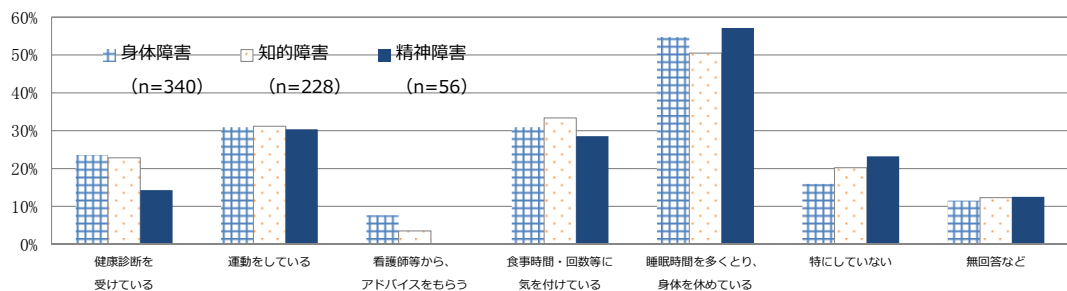
## 6 あなたの健康について、あなたや家族が心がけている事

-当てはまるものをすべて選択-

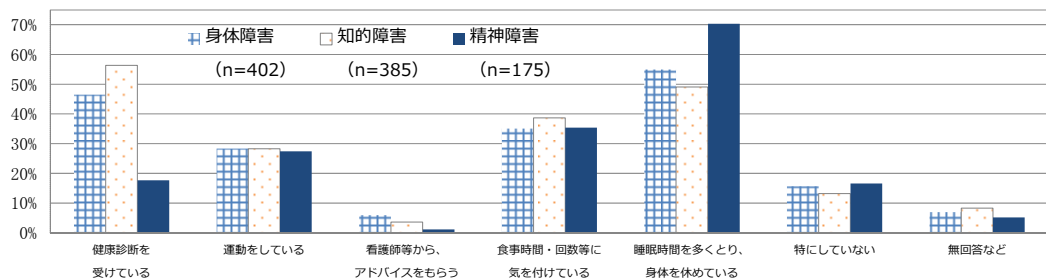
「睡眠時間を多くとり、身体を休めている」と回答している方が、年代、障害種別に係らず大きな割合を占めています。

「健康診断を受けている」と回答している方は年齢が高くなるに比例し、割合も大きくなります。

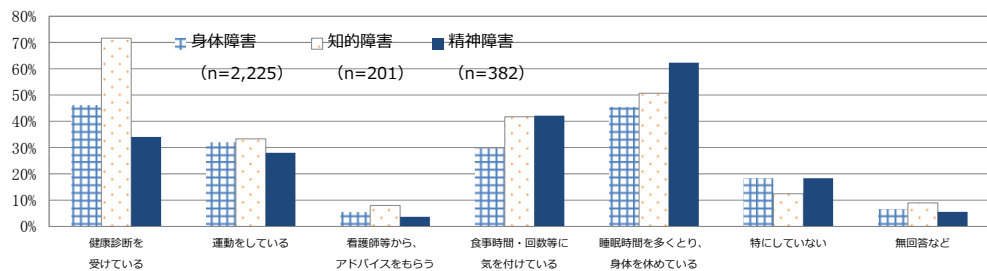
### (1) 19歳未満



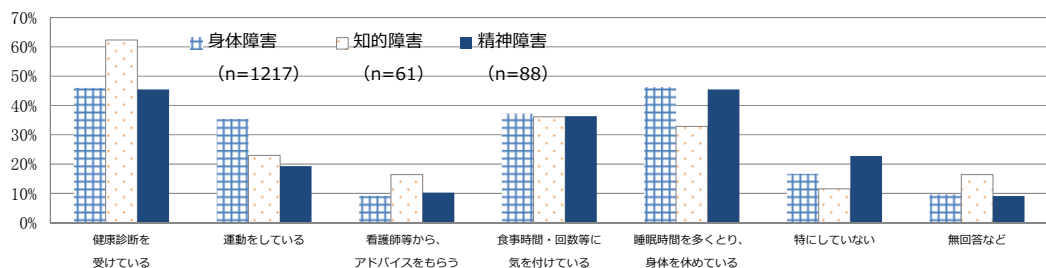
### (2) 19歳以上 40歳未満



### (3) 40歳以上 65歳未満



### (4) 65歳以上

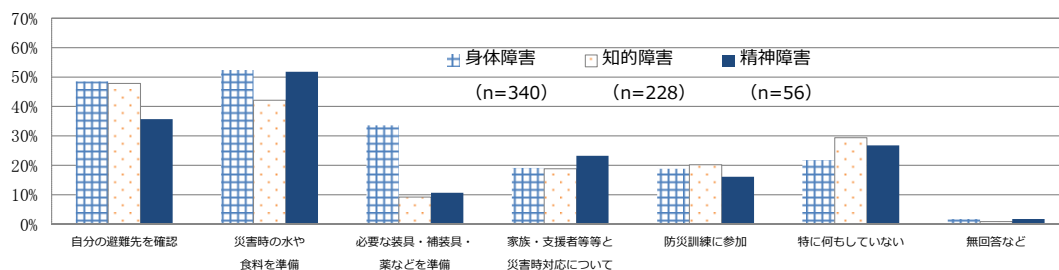


[アンケート回答結果：災害関係について、うかがいます。]

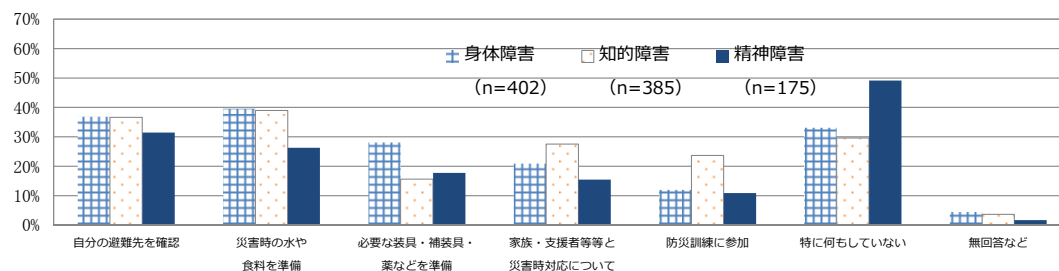
1 災害時への備えとして、どんなことをしていますか  
-当てはまるものを全て選択 -

障害種別に係らず、19歳未満では、「自分の避難先の確認」や「災害時の水や食料を準備」と回答している割合が多くを占めています。  
19歳以上の場合、知的障害の方では、「防災訓練に参加」と回答する割合が大きいです。また、精神障害の方では「特に何もしていない」との回答する割合が大きいです。

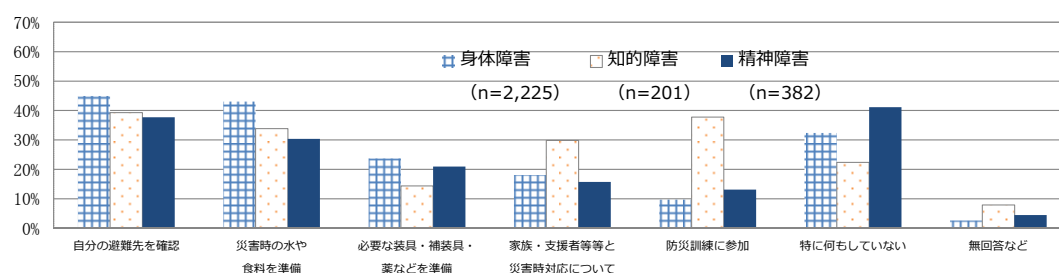
(1) 19歳未満



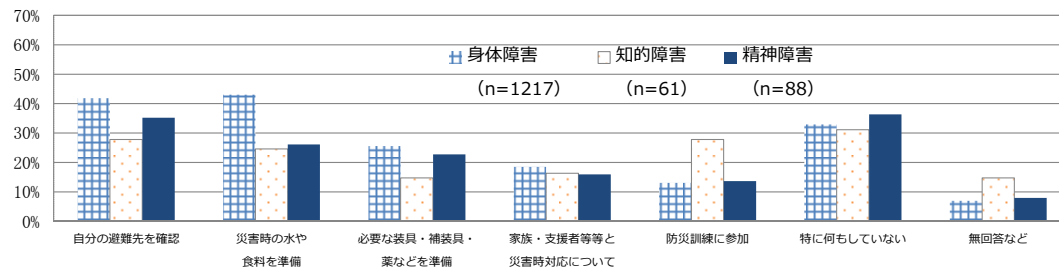
(2) 19歳以上 40歳未満



(3) 40歳以上 65歳未満



(4) 65歳以上

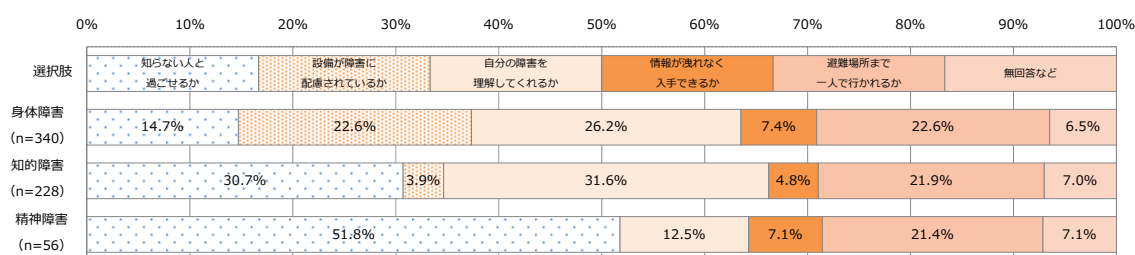




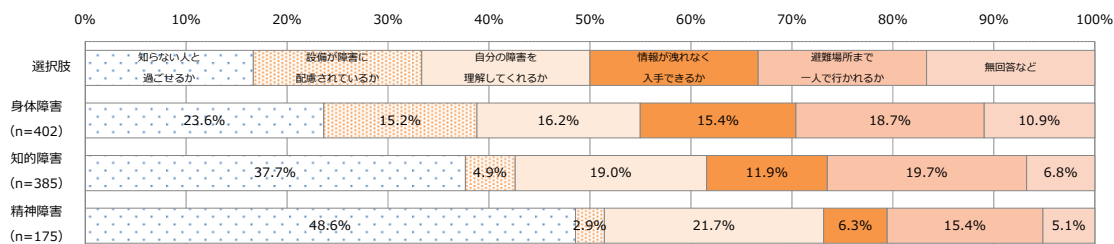
2 避難場所について、備えていても、不安に思うことはなんですか  
 -もっともあてはまるものを1つ選ぶ -

身体障害の方は、年代に係りなく「避難場所まで一人で行けるか」という回答が約2割を占めています。  
 知的・精神障害の方では、65歳未満の場合は「知らない人と過ごせるか」と回答が最も大きな割合を占めています。  
 65歳以上では、「避難場所まで一人で行けるか」と回答する割合が約3割となっています。

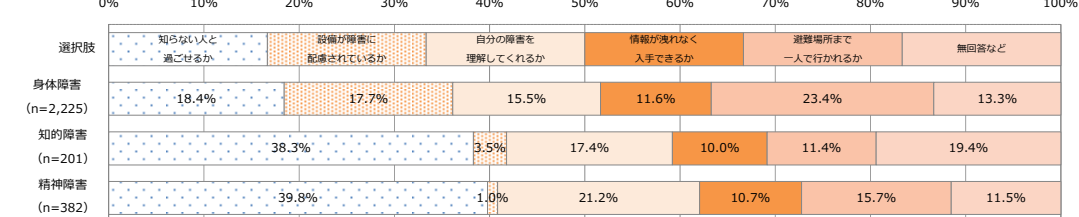
(1) 19歳未満



(2) 19歳以上 40歳未満



(3) 40歳以上 65歳未満



(4) 65歳以上

